（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可） 年中無休刊

# 京城日報

七日夕刊

列車時間表 [illegible]

## 動亂の支那

### ▲萬庄の激戰 張軍の敗走＝十六旅團の追撃

五日郎坊に於て衝突せる段、張兩軍は激戰の後張軍竟に敗北し段軍は直に追撃に轉じたるが北京より増派せる張軍三千萬庄（郎坊の西北（北京の方へ）約四里の地點）に到着したるより同日午後一時段軍部下の陸軍少將楊桂堂氏の率うる郎坊駐劄混成第十六旅團兵と再び衝突開戰し砲火は附近の民家を燒き避難民狼狽の光景慘澹を極む戰鬪は夕刻に亙り兩軍は交戰狀態の儘にて夜を徹し翌六日早朝再び戰鬪開始激烈を極めしが張軍は衆寡遂に敵せず少數の屍體を遺棄して潰走したるより十六旅團兵は追撃を續行中なり（北京特電）

張勳氏の兵三千は京津線萬庄に著し五日午後一時より混成第十六旅團と會戰し双方死傷あり砲火の爲め民家多數燒失せり（北京特電）

### ▲張勳軍敗北

六日朝段軍は萬庄附近の張軍を攻撃し激戰の結果張軍敗北し退却中なるが張勳氏は援兵五百を送り之を喰止めんとしつゝあり（北京特電）

### ▲林公使梁氏に警告 已むを得ずば鐵道を占領

外交部尚書梁敦彥氏は林公使を訪問し段祺瑞氏が北京を攻めんとするを以て之に應戰せざるを得ず開戰の責は段氏にありと告たるに對し公使は責任は誰にあるに關せず鐵道を遮斷し軍事的に使用するは千九百一年議定書違反なるを以て速かに中止せざれば鐵道占領の途に出づる外なしと述べたり（北京特電）

### ▲日米軍の鐵道補修 直ちに復舊せしむ

各國公使團會議の結果日米兩國兵一二中隊宛は材料、人夫を載せたる列車を保護して鐵道破損の補修を爲し交通を回復するに決し六日朝工事に著手し直ちに復舊せしめたり（北京特電）

▲張勳氏麾下の兵により破壞されたる京津鐵道は六日全く回復し列車を運轉するに至れり（北京電報）

### ▲協商各國公使の抗議

協商國側公使は張勳及び段祺瑞の兩氏に對し支那政府は千九百一年の議定書に依り北京天津等に於ける交通自由の保障に違反せる行爲を爲す可からず必要の場合各國は自ら保護の任に當る可しと抗議せり（北京特電）

### ▲各國駐屯兵の武裝 在留外人保護協議の結果

五日午前十一時米國守備隊にて各國守備隊長會議を開き外人保護に就き協議し各國兵は皆武裝せり殊に米國兵は示威運動を爲しつゝあり（北京特電）

### ▲某國公使調停斡旋

某國公使は嚴正中立の態度にて調停に盡力しつゝあり（北京特電）

▲張勳氏の請ひに依り北京駐劄某國公使は張勳氏の爲め段祺瑞氏に對し頻りに調停の勞を執りつゝあり（北京電報）

### ▲林公使に調停依頼

張勳氏は康有爲氏をして林公使を訪問せしめ段祺瑞氏との調停を依賴せり公使の諾否は疑問なるも調停の時機既に遲れたりとの意見なるが如し（北京電報）

### ▽同上別報

康有爲は張勳の旨を受け林駐支公使を訪問し調停を依賴する所ありしが林公使は復辟を取消し軍隊を撤退せば調停の勞を執るも可なりと答へたり

### ○飛行機大建造案提出

米國陸軍省は六億三千九百萬弗にて二萬二千六百六十二臺の飛行機建造案を下院に提出せり（華盛頓電報）

### ○米政府獨探驅逐か

米國政府は米國内にある十萬の獨探驅逐に就き考慮中なり（華盛頓電報）

### ○東京魚蘭輸送

京釜線の復舊に伴ひ魚類及び蘭の東京行き輸送を開始せり（元山特電）

### ○鳥取縣視察團

鳥取縣視察團一行は七日朝元山發京城に向へり（元山特電）

### ○本出代議士逝去

大阪府郡部選出代議士本出保太郎氏は六日夜病死せり（大阪特電）

## ●六月朝鮮貿易（下）

### 輸移出入品價千四百五十萬圓 一月以降累計額三千五百萬圓

▲輸移入狀況 次に輸移入に於ては趨勢前月と大差なく減少せしは生皮及び熟皮の十七萬八千餘圓を計上するに過ぎずして各品何れも増加を示せり即ち（一）春來米價漸騰に連れ需要を喚起せし外國米及び滿洲粟は本月に入り移入益々盛況を告げしに依り米に三十一萬一千餘圓粟に三十五萬六千餘圓を著增し（二）綿絲布類の入荷も亦た引續き殷盛にして綿絲に八萬餘圓金巾類に三十三萬餘圓日本綿は十八萬七千餘圓を激增し（三）其他熟鐵に七萬八千餘圓諸器械に十二萬餘圓石炭に七萬二千餘圓木材及び板に九萬一千餘圓セメントに十萬九千餘圓を増加せり尚各品の輸出入高は左の如し

▲輸移出重要品

| 品目 | 金額 |
|---|---|
| 米 | 一、二〇二、六五〇 |
| 大豆 | 六二三、九三三 |
| 其他・豆類 | 三三六、七六二 |
| 鮮乾鹽魚 | 二二三、五八一 |
| 人蔘 | 一一七、二五一 |
| 棉花 | 一一四、三六四 |
| 繭 | 二五三、二二二 |
| 金屬及古銅 | 六八、一三二 |
| 鐵鑛 | 六〇、五四八 |
| 重石鑛 | 二四〇、七〇九 |
| 黑鉛 | 一〇九、一一九 |
| 含金銀鑛類 | 三九三、九一四 |
| 石炭 | 三三、一一四 |
| 銅鐵及錫 | 二四七、六六〇 |
| 牛皮 | 九八、一三〇 |
| 皮革製品 | 一三三、三六八 |
| 煙草 | 九六、五二五 |
| 生牛 | 二四、九九八 |
| 海藻 | 九三、三四八 |
| 木材及板 | 三八、七四五 |
| 肥料 | 二〇一、二九二 |
| 其他諸品 | 一、二一〇、五八六 |
| 合計 | 六、一〇九、九四八 |

▲輸移入重要品

| 品目 | 金額 |
|---|---|
| 米 | 三二〇、八六六 |
| 粟 | 三七四、六三九 |
| 小麥粉 | 八九、三一二 |
| 食鹽 | 七〇五、四一四 |
| 砂糖 | 一九〇、九四六 |
| 石油 | 一四、二七七 |
| 繰綿及打綿 | 三一、三一四 |
| 綿絲 | 一六七、五四四 |
| 生金巾及生シーチング | 四〇五、七〇四 |
| 晒金巾及晒シーチング | 二三一、一九二 |
| 天竺布 | 六九、〇五〇 |
| 綿縮子及綿イタリアンス | 五七、九〇九 |
| 日本木綿 | 三三〇、五六三 |
| 支那麻布 | 六七九、二五四 |
| 毛織物 | 四四、三八三 |
| 絹織物 | 五〇、七〇七 |
| 洋紙 | 七〇、三三五 |
| 其他の紙類 | 一二、三三八 |
| 熟鐵 | 一四九、二二九 |
| 鐵管及管 | 五四、二一〇 |
| 軌條及附屬品 | 四八、七六八 |
| 鐵道機關車 | 四、四〇八 |
| 諸器械 | 三四四、〇一九 |
| 煙草 | 七二、三五〇 |
| 生皮及熟皮 | 三〇、三一五 |
| 石炭 | 三一一、七八九 |
| 木材及板 | 一八三、二〇三 |
| セメント | 一八二、五〇〇 |
| 叺繩及筵 | 七四、〇一〇 |
| マッチ | 四七、七九一 |
| 爆發物 | 一七九、九一一 |
| 小包郵便物 | 四五五、九七六 |
| 其他諸品 | 三、〇二三、九四二 |
| 合計 | 八、四一八、六七八 |

## ●無封書狀の範圍決定 一般に關係深き郵便規則の改正

遞信局通信課長 矢野義二郎氏談

今回府令第三十六號を以て郵便規則を改正せられたるが其要領は

▲無封書狀の範圍 現行郵便規則にては全部印刷したる書狀及び大部分印刷したる運送狀及び保險申込書の類は之れを無封書狀として取扱ひたりと雖も無封書狀となし得べき郵便物の範圍頗る明瞭を缺ぎ往々種々の錯誤を生じたるを以て今回規則を改正して無封書狀となし得べき郵便物の範圍を明かに規定することゝなれり即ち全部印刷したる書狀の外（一）官公署公共團體社寺學校又は營利を目的とせざる法人若くは團體より發するものにして大部分印刷したる書狀及び（二）營業者より其營業に關し發する報告書送狀契約申込書契約の承諾又は拒絶書請求書督促狀計算書見積書明細書領收書にして大部分印刷したるものは總て無封書狀となし得ることゝなれり無封書狀の料金は重量十匁又は其端數毎に金二錢なることは從前に同じきは勿論とす

▲郵便料金低減 盲人用點字の無封書狀、定期刊行物、書籍、印刷物及び業務用書類の料金に就ては特に低料の料金を課することゝなり彼等の爲めに多大なる利便を計ることゝなれり即ち定期刊行物の一般料金は重量二十匁又は其端數毎に金五厘なるも盲人用點字の定期刊行物は重量四十匁又は其端數毎に金五厘にして又一般の書籍、印刷物及び業務用書類は五十匁又は其端數毎に金二錢なるも盲人用點字の書籍、印刷物及び業務用書類は重量三十匁毎に金二錢と規定せり蓋し盲人用點字の定期刊行物、書籍、印刷物等の如きは一般のものと同一の料金を課するは用紙等の關係上當を得ざるものと認めたるが爲めなり尚以上の改正は來る七月十五日より實施せらるゝものにして内地に於ても亦右と同樣の改正をなしたり

## ●政務總監視察

山縣政務總監は遠藤秘書官及び坂出技師を從へ七日午前八時三十分南大門發列車にて仁川に向ひ同地著後直ちに永井土木局出張所長の案内にて築港工事の進捗を視察し正午府尹官舍にて少憩午後松永道長官の催しに係る漁遊會に赴き午後八時過ぎ南大門著列車にて歸京せり

▲山縣政務總監は七日午前十時三十分[illegible]來仁殖產課長、坂出技師其他を隨へ來仁築港を視察の後仁川府廳樓上に於て午餐を喫し午後五時半歸京（仁川）

## ●マ氏一行滯京

六日午後九時南大門驛著入京朝鮮ホテルに投じたる米國雜誌社主マクルーア氏並に主筆ワイルド女史一行は七日午後三時半より菱田通譯官の案内に依り總督府の自動車にて昌德宮景福宮を參觀したり尚一行は直に北京漫遊の爲め北行の筈なりしが目下同地は兵亂の狀態に在る爲め之を中止し約二週間朝鮮滯在の事に決したる由

●本田模範場長歸水 内地に出張中の本田水原勸業模範場長は六日夜水原著歸任せり

●京奉鐵道病院長入京 京奉鐵道病院長ディクリスチー氏は夫人同伴七月七日朝南大門著列車にて入京せり

## ●留又復暴落

留相場は逐日下落一方にて底止する所を知らず一度二百留を割りたる以來遂に二百三十五留迄下落せるが其後多少の恢復を見二百十五留内外を上下しつゝありしが今回又復下押となり六日哈爾賓相場は二百三十六留の新記錄を現したるに付大藏省は今回强制的相場を發布し百七十三留以下と爲すことを得ずと定めたりとの說あり

## ●京畿追加更定豫算

大正六年度京畿道地方費追加並に更定豫算左の如し

▲歲入臨時部 臨時恩賜金授產事業費補助金追加金四千七十九圓合計二十四萬六百十九圓歲入總計金七十六萬五百四十四圓

▲歲出經常部 土木費追加金四千七十九圓勸業費更定額金六百圓豫備費更定減金六百圓臨時部授產費追加金一千三百四十四圓臨時部合計三十三萬二千八百四十五圓歲出總計七十六萬五百四十四圓

## ●畜產組合設置

朝鮮重要物產同業組合令に據り今般畜產同業組合の設置を認可されしもの左記の如くにして孰れも生牛の生產竇買及び竇買の仲介を其の業務とする由

▲名稱 瑞興郡畜產同業組合▲地區 黃海道瑞興郡一圓▲名稱 平昌郡畜產同業組合▲地區 江原道平昌郡一圓

## ●慶北水害狀況

今回の降雨に因る慶北各地五日午前中の水害狀況を聞くに尙州郡は洛川の增水約九尺に及び氾濫の爲め堤防三十間缺潰の箇所ありて浸水家屋六十餘戶を算し咸昌郡は利安橋附近に於て道路浸水の爲め交通杜絕の狀態となり義城郡は邑內近傍なる石橋墜落し亦邑內にも浸水せるもの少なく漆谷郡は倭川の增水著しく橋梁の往來危險に瀕し自動車の運轉を休止し達城郡は琴湖江の增水約六尺にして蛾洋橋を距る約十丁の地點に於て氾濫し辛じて郵便物の運搬をなすのみ人馬の往來中絕し居れり因に農作物の被害程度等は未だ詳かならず他は概して被害無き模樣なり（大邱）

## ●共和政府南京に移轉

共和政府は南京に移され副總統馮國璋氏大總統代理をなす事となれり（北京特電）

## ●清皇室憂愁に沈む

張勳氏の强要に依り復辟を宣言したる清皇室は其後張勳氏一派の形勢一變して頗る危急に瀕し來れるを以て皇室の前途を慮り何れも暗然として悲愁に沈淪せり（北京電報）

## ●新大臣出席せず

醇親王は皇族會議を召集せしも新政府議政大臣一人も出席せず（北京電報）

## ●露軍戰鬪力增進 露國新聞の滿足

露國新聞は一齊に露軍の攻勢開始を歡迎し露軍の勝利に滿足し露軍の戰鬪力の增進に就て祝詞を陳べたり（露都電報）

## 湖南より

五道踏破旅行記者 李光洙

◇雨復雨、降りては止み止みては降る、あゝ雨の全州なるかな。折角の見物の豫定も蓋なしに相成候。旅館の手摺に凭れて、降りそゝぐ雨を眺めつゝ、通信文でも書かんかな。向ひの室には今しがた法院より歸れる光州地方法院長が、浴衣姿にて熱中致居候。ざあと降り出せば、一陣の風堂に滿ちて涼味掬すべしと云へども、はたと止めば又蒸熱くなる、一日の中に幾春秋否幾夏冬を過ぐる心持致候。

◇雨の一寸の留守の間を覗ては見い全州の町も大抵見盡し候。一萬から少し上の人口を有する山間の小都會に過ぎざれども、中々風景に富んだ小ざつぱりした町にて候。麒麟峯、南山、山城等の形も美しく、色も美しく、整然たる街衢、小奇麗な道路、何れも遊人の眼を喜ばせ候。全州の銀座の稱ある大正町は、中々町の體裁を備へ居り、通行人も京城の裏通りよりはずつと頻繁に候。銀行あり新聞社あり、神社あり、御寺あり、電話番號も四百近くを有し、電燈も近々點さるゝ由なれば愈々面白き處と可相成候。

◇河と申しては、鱗川に一寸毛の生えたる者に候へ共、足を濯ひ耳目を悅ばすには十分なるべく、殊に多佳亭附近には、規模こそ小なれ橋あり斷崖あり、山の倒影あり、中々馬鹿にならず候。絕壁に懸れる寒碧堂にも、俗塵離れの趣は賞すべく、山城の小刹にも、一日の禪味を味ふべし。

◇此の地は、元來韓の比斯伐にして百濟の完山、後に甄萱が後百濟の王都となり。又李朝の祖先墳墓の地なれば、大した古蹟も、なけれど全く回顧の種なきにしもあらず。李太祖が阿只拔都を破りて、意氣揚々凱旋したる梧木臺にては、英雄當時の心事を想ふべく、肇慶廟慶基殿の離々たる青草を眺めては、李朝五百年の多難なる夢の跡を辿るべし。曾つては聖地とも仰がれし德津の今や只松林と蓮の名所としてのみ、世に知らるゝことに想到せば、有爲轉變の世の有樣、轉た感慨無き能はず候。

◇全州の朝鮮人は、中々活動的なる樣見受けられ候。純朝鮮人の經營として完天合資會社あり、私立醫業傳習所あり、大規模の矯風會あり、性質は其れに能く似たる青年倶樂部なるものあり、殊に完天會社及び醫業傳習所は全州の財產家にして有力者たる朴永根氏の盡力によれる者にて、成績中々良好なる由にて候。全州には三十人以上放生ある由なれば青年倶樂部は之れに對する防禦陣なるべし。滔々として墮落に沈淪し去る朝鮮各大都會の青年を救濟するは目下の急務にして、斯かる青年團は尤も時宜に適する者と存候。府尹郡守方々が公務の餘暇、斯かる美しき事業をなされては如何。

◇又蒸熱く相成候。法院長は何れへか御出掛け、女中共が時を得顏にきやつ〳〵と騷居候。明朝は一番列車にて當地發、大場村に細川侯の農場を參觀して、光州へ向ふ豫定にて候。全州在留中、厚き同情を下されし官民有志諸彥に改めて、厚く御禮申上候。匆々不一。（七月四日午後三時全州にて）

## ●マ氏の學校參觀

米國紐育市の雜誌マックラー社主エス、マックラー氏は秘書ワイルド女史を隨へ六日朝入港關釜連絡船新羅丸にて釜山に上陸若松釜山府尹の出迎を受け相伴ふて釜山公立第一尋常小學校及び同高等女學校を參觀し同十時三十分發列車にて京城に向ひたるが同氏は主として教育方面より朝鮮の社會狀態を觀察する筈なりと語れり（釜山）

## 人事消息

▲鳥取縣視察團一行十名 七日午後元山より入京浦尾へ
▲中村辰五郎氏（鐵道局副參事） 七日朝入京天眞樓へ
▲北尾榮太郎氏（石川縣農商株式會社取締役） 七日朝入京
▲行弘直氏（麻生鑛業會社支配人） 同上

御西下の東宮殿下
―地理歷史御見學の爲め―

# 鴨綠江節
## 筏ローマンス（五）
◇◇憧れの胸より生れて◇◇
◇◇聽く者情緒を唆そる唄◇◇

營林廠の筏夫は今の總督府營林廠が明治四十年朝鮮統監府營林廠として軍用木材廠から分離獨立した年に岐阜及び木曾地方から筏流しに熟練した者をすぐつて雇入れたのである當時の鴨綠江沿岸は戰後間もなき事とて支那人沿賊や馬賊又は鮮人匪賊などが跳梁跋扈して筏は折々江上で此の土賊に襲はれて掠奪せられたものである此の頃は筏夫は銃に彈を込めて筏の後先に立つて賊の襲來を警戒して筏を流つた斯うして二十日餘りを寂しい不安の日を波の上に搖られて送る彼等の身に取つては懷鄕病の起るのも無理はない朝日の出る方に背伸びをして

▽故鄕の空を眺めても其處には

### 打續く深林と▲

▽其の上に連らなる岩壁と流れてゆく雲の影ばかりだ泣きたいやうな寂しさが彼等の胸をショックして思はず知らず唄ひ出させたのが筏節である其の節が哀怨で其の聲調に底力が籠つて聞く者の情緒を唆るのは斯した地へ離き憧がれの胸から迸り出た僞りのない聲であるからである內地にも筏節に似た唄はある岐阜や木曾地方にもあれば大分や佐賀地方にもある或はそれが昔からあるほんとうの筏節かも知れぬが鴨綠江節はそれを基礎として更に聲調と情趣の上に一段複雜なる技巧の

▽加へられたものである故鄕

### 千里の哀愁と▲

▽百數十里の江上を下る無聊の彼等には何等かの慰安がなければならぬまだ其頃には岸に人の住むやうな處も稀であるし日本人の顏は安東縣まで行かなければ見られぬと云ふ頃である自然と洩らす淋しい嘆聲が筏を洗ふ波の音と岩を吹く風の聲と調節して其處に鴨綠江節は生れたのである其歌詞や

▽如何にも放浪的で人なつかしく居るの一遊びの心持

### 引き入る魅力▲

▽其をであるまいか此の唄の美しさに惹いた最初の人は朝鮮銀行新義州出張所の伊藤敬三君であつた岸の柳の小蔭い繁みから此の唄が流れて來た時に君はサイレンスの唄ではないかと聽いたそうだ細く沈んでゆく歌聲は身も魂も水底に引入れられるやうであつたと云ふ事だ同君は筏節を習ふ爲めに毎晩江を下る筏に

▽乘せて貰つて筏を操りながら

### 波の音に合せ▲

▽林組の若衆から教はれたそうだ

間もなく筏節は沿岸の人達の耳を傾けさせた江岸の守備隊の一將校は「銃たて、天幕張りて背嚢枕、外套夜よりてすやすやと妻子に逢ふたるよ夢なかば憎やまた打出す敵の彈」と其の記憶の感興を唄つたいろいろの人がいろいろの感想を其の調子を取つて唄ふやうに成つた斯うして鴨綠江節は朝鮮一杯に廣がつて今では內地の各方面へも燎原の火のやうに廣がつて行きつゝある（終）

## □東宮殿下 稚松の御手植

六日朝東宮殿下には出雲大社に御參拜御父　今上陛下御手植の松に對し緣鮮かなる稚松を御手植相成り午後松江市に向はせらる（大阪特電）

## ●中等教員を兵營に
### 暑中休暇中一週間を利用して

大阪府下全部の各種中等學校より教員一名宛總計百五十名（？）を暑中休暇中一週間に互り第四師團へ交渉して第四師團步兵各聯隊に送り一般兵卒と同樣の生活をさしめ度き希望にて目下師團へ交渉中なり尤も之に要する費用の全部は府に於て負擔する由（大阪特電）

## ●職工三萬二千名解雇
### 日本兵器會社の工場組織變更

日本兵器會社は露國政府の新艦製造を打切り三萬二千名の職工は一時に解雇せり之れ會社の經濟上已むを得ざる措置にて工場全部の組織を變更すと（大阪特電）

## ◎兵士卅五名日射病で倒る

大津聯隊にては一個中隊桃山へ強行軍を爲し御陵參拜の歸途日射病にて三十五名倒れたり（大阪特電）

## ◎鳥淸間の水害

鳥致院淸州及び芙江方面の水害狀況は既報の如くなるが今更らに淸鳥間道路の水害狀況を視るに鳥致院美湖川橋間は道路の決壞三箇所總延長二十間餘

### ▲農作物には　さしたる被害なし、美湖川橋より中茶屋迄被害甚しきも多く、美湖川支流は川心全く變更して路傍に副ひて流出したる土砂の爲め水田の埋設したるもの尠からず

### ▲道路の缺壞　三箇所延長約五十間、電柱の倒れたるもの一本あり浸水家屋約八戶、休岩里附近より道は淸州に向ひて下る此の沿道又山より放出したる土砂の爲め水田の被害多少あり

### ▲盤松里橋梁　一つ流失缺壞し約七間、一帶の浸水約六尺五寸、竹川面附近竹川面流失、淸州橋手前淸州種苗場附近無心川の奔流に洗はれて路心を表はし交通極めて困難なりされど

### ▲一帶の復舊　工事は左程の困難なかるべし五日午後一時半鳥致院よりの郵便物始めて淸州に入り旅客は人車若しくは徒歩にて交通し居れり尚ほ淸南橋附近にて溺死したる鮮人の屍體は五日午後二時頃第一部長官舍の下手にて浮き上り收容するを得たりと（鳥致院）

## ◎鵲院關の樓門崩壞す

京義線三浪津停車場の東方約半里洛東江の右岸鐵道線路の近傍にある鵲院關は建築後

### ◈三百餘年を經たるものにて既に腐朽しゐたるが七月六日朝俄然崩壞せり樓門は李朝中葉に於て外敵防禦見張のため設けられたるものにて文祿元年には小西行長東萊陷下數城を屠り三浪津に押寄せ來るや當時の府使朴晋鐵守備したるも我軍は

### ◈背後の嶮を　登り鐵波を防ぎつゝ突撃したる結果朴晋は身を以て逸れ若へ僅に陶城に隱れりと云ふ

## ◎水夫同盟罷業

大阪水上署水夫は生活難と爆發事件の不平より同盟罷業を起せり（大阪特電）

## 讀者文藝

▲俗謠（撰者）

◎今波銀波の流りを捨て　白帆すてゝ川の潮に（以下判読困難）

## ◎職工四百名の行衛不明

同府氏一家の經營せる大阪府下西成郡鷺洲町大字南浦江所在ゴム會社の職工四百名は風の如く何處にか姿を沒したり（大阪特電）

## ◎塚原澁柿園逝く

塚原澁柿園氏は五日脳溢血にて逝去せり享年七十歲、歷史小說の作多し（東京特電）

## ◎龍山の庭球戰

八日午前九時より龍山鐵道コートにて龍山鐵道靑年會庭球部と京城庭球俱樂部の第一回戰を開く由なるが右終了後仁川靑年會庭球部と龍山鐵道靑年會との第二回戰ある由にて斯界の耳目を聳め居れり

## ◎一萬圓事業懸賞募集

朝鮮地方に於て起業すとせば如何なる事業が最も確實且つ有利なりやといふ懸賞論文募集は嘗て京城商業會議所にても行ひたるが今回長谷川朝鮮總督府の須藤久左衛門氏は有識者に對し一萬圓事業懸賞を募集…

## ◎同情の涙

本紙記載不幸なる家庭上の…氏に對し黃金町三丁目吉川貞子より見舞として金二圓寄附方申越せしに付き直に其手續をなせり

◎（懸賞募集）…五十圓二等三十圓三等十圓の賞金を懸け廣く公募…十工業に著實なる事業…の方法利益步合經營等の大要を明記し…七月中に前記須藤方に送るべし…の上九月一日當選者に贈るべしと

## 灯とし火

▲野田大塊翁江口虎耳宗匠の許に消息して曰く▲議場では院合つて居る反對黨議員も拙者の顏と俳句には裏から感服して居ると見ゆ▲議院の門を潜るとき方からも此方からもドウか一つ御揮毫を願度いと厳味方無差別に白扇を突付ける▲拙者亦大いに安賣りをして日に三四十本宛毎日揮毫して居る▲これで拙者も日本に名だたる畫描きに成つた句あり曰く「時ならぬ日比谷に香る芝蘭哉」と得意そうな顏が見ゆる

金牌受領　本椿香油
髮を黑く長くつやを出さらりと　そして髮のぬけを防ぎ髮あかつかざる事妙なり

編筏所に集留された木材（筏ローマンス記事參照）

## 商況

### 債券現物特電
京東（六日出來高）

### 東京公債直取引
（六日）

### 深川在米特電
（六日現在高）

### 東京期米特電
（六日前場）

### 大阪株式
（六日前場）

### 大阪三品特電
（六日前場）

### 大阪期米特電
（七日前場）

### 下關期米特電

### 雜報

### ●綿糸布反動瓦落
前月末より破竹の勢ひを以つて連日相場の騰貴を重ね、綿糸も五日に於ける狂騰に反動を惹起せり…十五錢先限三百十三圓九十五錢と雪崩れたるが今前記三品の著しき下落は…

#### 十五錢安
#### 米棉一圓
#### 角七十六手三百圓
#### 双女十手二百八十圓
#### 綿布に龍レ現物九圓七十五錢

### ●綿ネル類昂騰
…

### ●三四割方の奔騰

### ●目先更に昂騰

### ●牛皮無商內

### ●石油値上近きか

### 思惑を試みんと向ふ

### 値上に交渉大に進捗

### ●銑鐵依然弱含

### ●依然軟弱步調

### ●再び硬化を現はす

### ●鳥山方面の米況

### ●精白米ヂリヂリ安

### 二十二圓

### 尚一押し高値

### 下關相場

### 京城正米

### 京城雜穀

### 南大門の廻穀

### 釜山穀物（六日）

### 釜山水產市場（六日）

### 仁川期米

### ▲七日前場（沸騰す）

### 大阪天候晴天前寄二十三圓七十九錢と昨止より一錢高の入電

### 二錢高に寄付

### 大關門を突破し遂に二十圓の

### 大混戰裡に散會

### 七日の九月限

### 仁川米豆取引所

### 仲買店

### ▲人氣沸騰す

### 變の兆あり利喰の續出に支へられ將に形勢一更に大反撥を來す

### ▲大混戰盛況

### 神力四千餘叺京城筋へ十八圓四十錢にて正米界の人氣に更に高唱

### ▲中限昂騰す

### 市場零聞

### 俄沸騰す

### 青物小賣相場

愛讀者優待
東京相撲 木戶割引券
本券御持參の方に對し一名限卅錢の木戶を廿錢に割引致候
京城日報社
鎮南浦興行中

●灰の中に嬰兒を　全南長城郡黃龍面黃龍里李廣執は本年一月…灰の中に埋めて死に至らしめたること發覺し其筋に逮捕さる（光州）

●連絡船上陸客　六日午…

課題及募集規定

天氣　曇り時々晴れ

# 黎大總統は 斷して我公使館に來投した

●家族は一應監禁されたが、後に黎氏私邸に幽閉された●

張勳氏の強要に對し徹頭徹尾政權の返附を肯せざりし中華民國大總統黎元洪氏はその後非常なる壓迫を蒙れるも飽迄強硬の態度を示めして總統府は蕭國火氏の率ふる三百餘の兵を以て死守し全城悉く黄龍旗を揭ぐるに、獨り

△總統府上中天に飜る五色旗のみは依然として引卸ろさず民國最後の一頁をして光輝あらしめたが形勢は刻々に險惡となり匪の手は遂に總統の身邊近くに迫つて來た實に風前の燈火に等しき運命であると揣て加へて暗殺の風說さへ傳へられた七月二日夜、蕭々たる五月雨の暗を衝いて一臺の自動車はモートルの音も靜かに總統府の西華門を出た暗を透かして見れば車上の人は

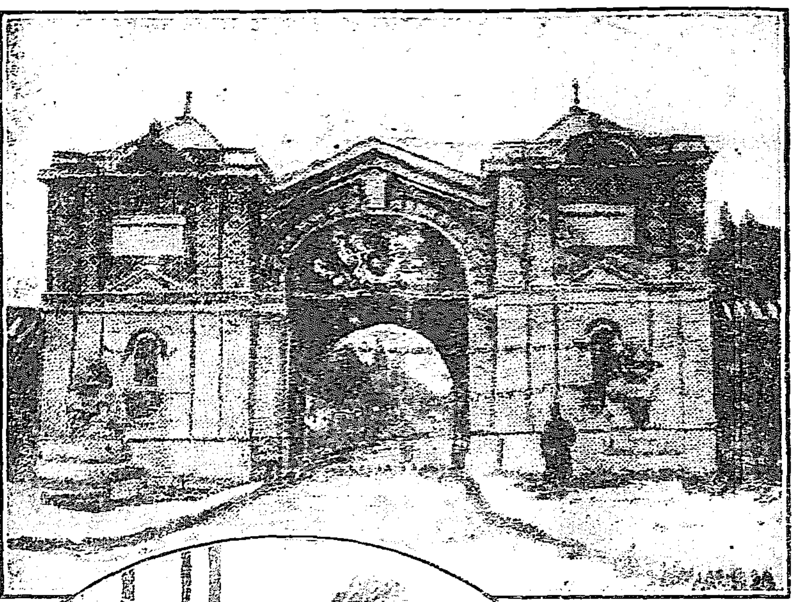
▽運轉手共に四人而も▽若雨外套に深く顏を包んでゐる、自動車は西華門から西單牌樓大通を南し努めて張勳の兵士の警戒の區域を避け泥濘の闇を一瀉千里の勢で公使館區域たる交民巷を驀進に我が公使館の前でぴたり止まつた中なる一人は公使館附武官齋藤少將の官舍を訪づれて刺を通じた、折柄時局紛擾のため事務に忙殺されてゐた武官連は愕め

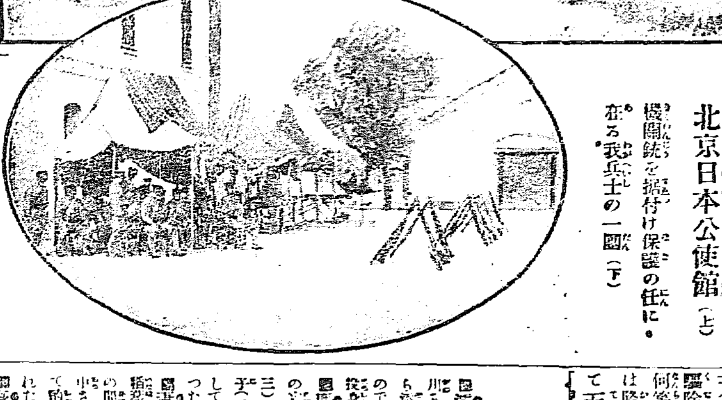
△何等の通知のなかつたので意外の感に打たれたが其旨を病床にあつた齋藤少將に通じた少將は快く面會を諾した自動車中の一行は直に迎へられて林公使と握手したその人は誰あらう、嗚呼これぞ中華民國大總統黎元洪その人であつた他の三人は侍從武官陸軍少將唐仲寅、秘書官劉鐘秀とその從者であつた

▽林公使と面談の結果 齋藤少將は直に

▽事情已を得ずさて國際の通義を顧みて相當の保護を加へる事とし取敢ず公使館內兵營に收容することに決定した其旨駐屯隊長鈴木中佐に傳達し午後一時半準備全く整ひ兵舍の一室に移居せしめ萬一に備ふるため非常の警戒をすると共に一切の面會を謝絶した、その後の總統は公使館使用のコックにより調理されたる洋食を攝り默々として一言も語らず黎氏避難の際は帽子も戴かず

△肩章の跡のみ殘る軍服らしきリンネルの詰襟服を著してゐた黎氏の家族は一時張勳氏の兵に監禁されたるも直に東廠胡同の黎氏私邸に移され幽閉されてゐる黎氏の日本公使館避難に對して種々な臆說を逞うする者があるけれど日本公使館は黎總統が同公使館にある間政治的行動を許さないは勿論の事である、斯うして黎總統は危險を冒して公使館に逃れ林公使は直ちに此旨を張勳に通告し各國公使には三日朝それ〲通告を發したのである(北京)





▲黎總統の來投せる北京日本公使館(上) 機關銃を据付け保護の任に在る我兵士の一圖(下)

## ◆苦學の女學生が多くなつた

近年女學校入學希望者は著しく增加し爲めに公立の高等女學校は勿論私立女學校さへ收容しきれず這は一般婦女子が敎育の必要を自覺した爲めであらうそれで學資の不自由な者は自分で働いた金で授業料から學校用品を支辨してゐるのが多い目下京都の電話交換局に居る交換手で女子技藝高等女學校第一高等女學校家政女學校華頂高等女學校選科同實科同裁縫科女子手藝女學校師範科京都高等女子學校の課業終るは午後三時であるに局の勤務は午後四時だから多くは學校よりの歸途局に驅付けねば間に合はずそれより十二時まで夜勤(最も一時間に十分の休憩はある)をなし腦も休むる間とてなく夜半局が退けて家に歸れば翌日の下調べもせなければならぬこんな苦しみをして迄も學の庭に勵みてゐるものがあるを思へば父兄より豐富なる學資を受取る學生は一層勵まねばならぬ(大阪支局)

## ●蝗蟲發生 富川郡桂陽面に農作物被害多し

仁川府に隣接せる富川郡を視察し來りたる某氏の談に依れば同郡桂陽面には夥しき蝗虫發生して苗代と言はず草原と言はず野菜類に至る迄被害を被り慘澹たる光景を呈しつゝ有り夜は燈火に集まらんとして無數の蝗虫人家に飛び來るも農民は一向平氣なるのみならず該蟲は旱魃に際して天より降りたる天蟲(又は矢と言ふ)なれば此れを驅除する際は天罰立處に降ると稱し何等驅除の方法を講せず然して天虫は降雨ある場合は悉く死滅するを以て天然力に依るに非ずば人力を以て如何ともし難しとて降雨臻るを待ち焦れつゝ有りと迷信も此處に至つては甚しと謂ふ可く目下郡及び警察署にては此れが驅除獎勵に勗め居れるが益々蔓延の徴あり既に隣接郡にも蝗虫の被害を發見しつゝ有り今後全力を擧て驅除するに非ざれば農作物の被害は甚しき者あらんと(仁川)

## 渚の砂

▲流れから投身 廣島縣豐田郡佐江村谷川ちよの(一九)は素性も知りもせぬ若い男から誘惑されてゐる所を家主から見附けられたので申譯の爲め大きな石を身體に縛りつけて投身自殺を遂げた

▲慶大生の情死 東京芝[illegible]慶應義塾大學理財科一年生[illegible]三)と[illegible]子(二〇)の兩名は二日夜相州大磯の海に投身して情死を企てたが遂共に救はれ[illegible]

▲妻から告訴 [illegible]郡守[illegible]稻葉作次郎妻まさく(二七)と[illegible]の間には二人の兒迄あるに[illegible]小さくな虐待しさくの實家から百圓[illegible]て的婦村口ふみ女五千九圓で[illegible]れたものでさくは此間夫次郎を告訴した

▲豪氣な少年哉 廣島縣[illegible]藤秀登(三五)長男英登(一〇)は父が[illegible]へ出稼ぎに往き居るが[illegible]錢を入れ飲まず食はずで居村から四里の夜歩きを通して[illegible]に着いて疲れて打倒れてゐる所を[illegible]

▲昔と今の逢ひ [illegible]な七月二日[illegible]の主人から救はれた[illegible]

[illegible]

▲二見浦の供養 伊勢の二見が浦といへば神代ながらの名所だが近來投身自殺者が頻出するので町の有志は二日午後海岸で大施餓鬼供養を營んださうな

## ●櫟村畫會初日觀覽者多し

鶴田櫟村氏の半折畫展覽會は七日午前九時より九日まで三日間本町三越吳服店樓上に開かれたるが、出品點數は半折畫箋共に約七十點にして、見るべきもの多く觀覽者は午後より最も多く出品畫中朝鮮の風景人物を取材とせるもの最も人目を惹き好評なりき、半折畫は表裝付にて四圓內外にて櫟村氏は尚ほ一二箇月滯在の筈なれば、出品畫中賣約濟の分に對しても再註文に應ずる由なり

▲櫟村半折畫會 七八、九の三日間三越吳服店三階にて

## ●警察署水泳會

仁川警察署にては例年の通り本月末頃より月尾島附近に於て水泳及び操練をなす由なるが其の日取は本月二十五六日迄三十一兩日なりと

## ●炭疽病流行

平安南道安州[illegible]面に於ては過般來牛炭疽病發生し其後續々發生を見今や十數頭の五牛斃死するに至り傳染々蔓延の虞れあるにつき道當局に於ても關係面に對し豫防液注射を勵行することに決定したり(平壤)

## 神社とお寺と教會

○龍山日本基督敎會 八日午前九時[illegible]日曜學校[illegible]說敎[illegible]牧師[illegible]說敎『[illegible]』同牧師

○メソヂスト敎會日曜集會(旭町二[illegible]) 八日午前八時四十五分日曜學校同十時說敎[illegible]牧師、午後八時三十分『[illegible]』同牧師

○平公會集會(南米倉町) 七月八日午前八時三十分[illegible]同午前九時三十分[illegible]

○西本願寺(大和町三) 八日午後一時より婦人[illegible]の同明[illegible]

○京城日本基督敎會(長谷川町) 七日八日午前九時より日曜學校同午前十時[illegible]『恩惠の宗敎』金子牧師同午後八時半傳道說敎『同心なるイエス』同牧師


胃病良藥 ホシ胃腸藥

定價10.20.50.100

東京市京橋區南傳馬町三 星製藥株式會社 各地特約店及藥店にあり

特約店 京城府太平通二丁目三〇五 キムラ藥

"PINE"

是れ!是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!

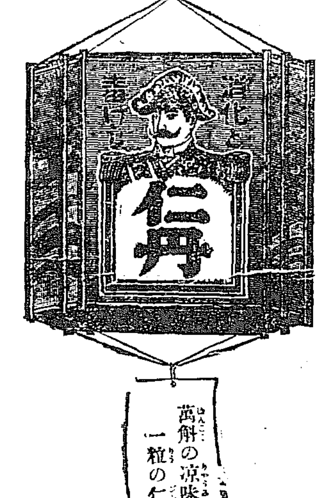
◎大日本政府登錄 米國製正十四金「イリジーユム」付ペン(責任保險付) 堅牢無比

◎附言 パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ケ年間交換又無料修繕 完全なる設備と老練なる技術者に依各種萬年筆即時修繕 京城旭町二の六 東京パイン萬年筆出張所

定價 樣式六圓八十錢 押出式五圓三十錢 インキ止短軸四圓九十錢 最新婦人用三圓八十錢 インキ止實用三圓八十錢

發賣元 京城大平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

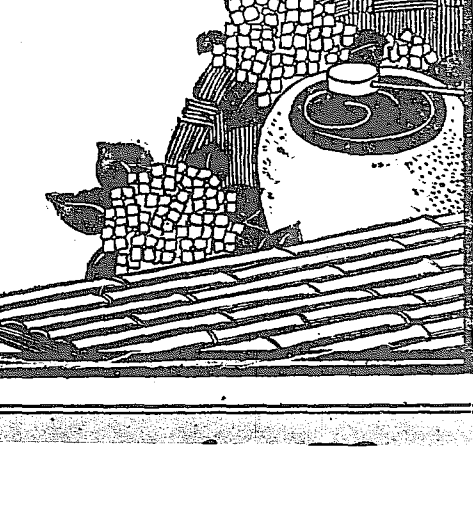


●暑さ日に增す

今日此頃は時候あたりや夏まけせぬやう誰方も早く仁丹の御用意が何より肝要です!!

萬斛の凉味は一粒の仁丹から

金言 虚言を吐くものは時に眞實を語るも信を措くものは無からん(アリストートル)

進物箱 切手 調進仕候

▷大日本麥酒株式會社◁


平壤女子高等普通學校長從五位勳六等渡部春藏病氣の處療養不相叶本日午前十一時三十分卒去致候間此段謹告候也

大正六年七月六日

妻 タツ

親戚總代 桑原謙藏 赤本萬二郎

友人總代 篠田治策 本田常吉 田中玄黃 小松久夫

[illegible]

# 明君道中記

第百九十九席 田邊南龍口演

大津宿の淨閑寺へ代官石原淸左衛門の手付役人が出張して切支丹詮議の爲ところびの先例を以つて取調べると云ふ事を聞いて長七郎は淨閑寺へ參つて是を見物いたします、扨切支丹宗は徳川家にて此を嫌ひ悉く制禁となりましたが天草戰爭の後京都に於いてころびの所置と名付けて此を行ひましたは切支丹の信者を大勢召捕つて天地へ銅の板へ天帝如來の像を描き此を信者に踏ませまする踏み付けた者は今で助け踏ぬ者は斬首にす

けました是をころびの所刑と名付けて京大阪江戸は勿論日本國々にて此を行ひまするその所置があることを聞いて長七郎は見物に參つたのでございます成程見ると石原手付の役人が二三十人出張して固めて居る大勢集つたものは一々喚出して一人々々に銅の像を踏せまする皆生命が惜うございますから踏み付ける踏みさへすれば宜いと云ふので是を蹈します長七郎は是を見て居りましたが何時迄見て居た處が同じ事であるから其儘十四屋へお歸りになつて主を呼出し此の事を話しますると主人は是を聞いて 仁「イヤモウ旦那樣毎度の事でございまして此の宿の者も皆迷惑をいたします 長「愁う云ふ事が毎度あるのか 仁「時々ございます 長「それは迷惑であらう 仁「例へ切支丹の信者でなくも役人に憎まれますとその罪に落されますから驚きます 長「何か然う云ふ事でもあつたのか 仁「左樣ならお話を致しますが、京都の三條通りに藥屋渡世唐津屋源右衛門と云ふ者がございまして 長「ウン 仁「天草戰爭後公儀より和蘭南蠻の船を止めましたから藥種が參りません、それ故に京都の藥種屋は困難をいたし分けて唐津屋の一家でございます切支丹宗を信仰したとか云ふ理由で殘らず缺所になりました、源右衛門は信者であ ませんから命は助かりましたが、然し家は取潰しとなり無據當所へ參つて只今ではしたない暮しをして居ります 長「オウ、それから如何いたした 仁「その源右衛門さんに一人の娘御がございまして、それが又大變容色美しで近所の者は小町娘と申して居ります 長「フン 仁「然う云ふわけで若い者は云ふに及ばず白髮の老爺さんまで騷ぎましてな、男と名のつくものは犬まで其の娘の跡を追ひます 長「大層な美人じやな 仁「それは旦那樣人間離れがして居りましてな神樣かと思ふ位でございますよその娘にゾッコン惚れたのが此の大津の代官石原淸左衛門の御子息で淸三郎樣、旦那樣不思議なものでございますな 長「何が不思議じや 仁「不思議だと申しまして、彼樣マア恐うございます 申しては恐れ入りますが代官の御子息樣はマア人間に遠い方でな 長「フーン、人間に遠いと申して何う遠い 仁「へエ、モウ醜い何に醜男じやと申しまして彼の位る惡い男はありますまい、その醜い男が人ではない神樣だと云はれる源右衛門さんの娘に惚れるのが不思議でございますよ、彼樣方は女に惚れる樣ではございません 長「ハヽア美醜に依つて色戀をいたすものでもなからう、して如何した 仁「何うでございませう、その淸三郎樣が源右衛門さんの娘に結婚を申込んだので呆れたものでございます、源右衛門さんは直に是を斷はりました處その眼はかり恐ろしいもので、石原樣から半月ばかり過た後源右衛門さんを切支丹信者として捕縛されました、是は皆御子息の戀の敵はぬ爲でございます、い中に源右衛門さんは市中引廻しの上御所置になります 長「イヤ不屆な、して娘は、 仁「オー其方が手許に、それは感心、主人それでは早々是へ呼べ 予が逢うて何んとか親子の者に力を盡し遣はす」


外科 皮膚科 尿器科 花柳病科 泌尿 一般
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

うなぎ 龍山 松華 電話三二八番


## 演藝案内

七月八日 舊五月廿一日壬子 本命六白乾 發先勝 [illegible]

御成座 電話一九一番 現代新派當世劇一行 七月七日開演替藝題 一番 悲劇 又意外 二番 喜劇 女之勸め 五場 [illegible]

黃金館 電話 三七 二六五二 [illegible] 七月七日より [illegible] 家「狂根子」(全三卷) [illegible] 黒胡蝶の女」(全三卷) [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 浪界明星京山若圓、原晴夢合同 七月七日午後一時より開演 演題 柳生旅日記(原晴夢)▲寬永勇士揃(京山若子)▲東の花義經 動功記(若圓)▲雪の曙本傳播州皿屋敷(晴夢) ▲入場料は破天荒の勉强三等十錢一二等廿錢

稻荷座 本町五丁目 當座本年一月興業に於て非常の好評を博し大阪親友派浪花節泰斗竹川馬生一行る滿洲地方巡業中の處今回內地へ歸途に際し再度當座に於て來る七月五日午後七時より開演致す事に相成候間前回同樣賑々敷御來車被下度此段奉懇願候也 敬具

桃中軒 二代目 雲右衛門 壽館

有樂館 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番 米國ユニヴァーサル會社特約 早川演藝部直營 [illegible] 七月六日より引續き [illegible] ○大滑稽 土耳古風呂 [illegible] 人情劇「鐵壁」(全二卷) [illegible] 第七「紫の覆面」(第十三篇、第十四篇)[illegible] 五郎蔵(全五卷)[illegible]

壽館 京城壽町三町 電話一〇三 二代目桃中軒雲右衛門一行 七月八日より毎日午後六時開演 初日の讀物 ▲義烈百傑 桃中軒雲 ▲少年武士道 [illegible] ▲五郎正宗 [illegible] ▲關取千兩幟 吉川二代目小辰玉 ▲大久保三政談 松前屋五郎兵衛 木村榮次 ▲惡七兵衛景淸 京山花丸 ▲大石妻子別れ、横川勘平 一番槍雲右衛門 ◎入場料一等六十錢、二等四十錢、三等廿錢 軍人學生小供各半額

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 七月三日より新寫眞提供(入場料普通) [illegible] ○滑稽活劇デブ君の花婿 全一千呎 ○新派悲劇市藥若葉(全三卷) [illegible] ○泰西大活劇少年義勇團(全三卷) [illegible] ○舊劇伊賀越後日の仇討(全三卷) [illegible]

●訂正 本紙七日朝刊三面 [illegible] 三圓八十錢の誤植に付訂正す


●マラリアに一番
ヨクキククスリハ
龍山林藥房製劑の
マラリヤ特効丸
價 全十錢 三十錢 五十錢 郵稅二錢
◎ニセモノアリ御注意◎
本舖 龍山 (H) 林藥房
代理店 京城本町一丁目 山岸天祐堂

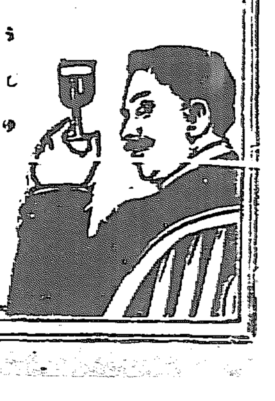
傳染病の豫防には、
口中の淸潔が第一です。
口中を不潔にして置きますと、そこに種種の細菌が發生しますから、若し少しでも身体に故障がありますと、この細菌が跋扈し出しまして、直ぐに病氣を誘ふやうな始末になります。故に完全なる化學作用と殺菌作用とを有する
ライオン齒磨で
朝夕食後、口中の淸掃を行はるるならば、洵に理想的の衛生法でございます。
東京本所區外手町
ライオン齒磨本舖 小林富次郎
ライオン石鹼 支店 大阪 [illegible]
(794-6)



健康長壽
腸胃病最新藥
ブルガリン
メチニコフ博士唱導
不老長壽說ニ基ク
乳酸菌製劑
村上醫學博士
島田藥學博士 實驗
官公私立病院 證明
腸內を防腐消毒し蛋白質の消化吸收を助く故に腸カタール下痢消化不良便秘貧血衰弱症に卓効を奏す
コレラ赤痢チブス等の病原菌及有害菌を撲滅せめし腸胃を健全にす
有害菌の生產毒を制止し健康と長壽を保つべし
小兒消化不良に最も適應す
粉末 三十瓦壹圓 拾五瓦五十五錢
錠劑 百錠壹圓 五十錠五十五錢
見本及說明書進呈要郵券貳錢
大阪道修町三丁目 田邊五兵衛



一度親めば忘るゝ事の出來ない
この美味! この滋養!!
誰人も召し上れ——!
美味 滋養 蜂印香竄葡萄酒
朝夕飲用せば一生涯健全なり
東京日本橋 近藤利兵衛


蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を原料とし補血強壯料を主成分として精製せる專賣品なり
毎朝夕一杯づゝで血色を増し肉を肥す

京城日報
七月八日
（夕刊と合せて八頁）
第三版

# 朝鮮の教科書（十五）

編輯課長 小田省吾

## 五、小學校用教科用圖書

朝鮮に於ける內地人教育の施設は朝鮮總督府の直接經營に係る官立中學校（現在二校）を除く外、各地學校組合の設立せる公立高等女學校（現在一〇校）、公立實業學校（現在五校）並に公立小學校（現在三四八校）と其他各種の私立學校（現在五校）とにして是等諸學校教科書に關する規定は多く內地の法規を準用したるを以て、內地に於ける當該諸學校と異なる所なく、中學校等に於て文部省檢定の教科書を使用し、小學校に於て國定教科書を使用すること內地と同樣なり。故に內地人教育に要する教科書に關し別に多言を要せざるも、特に朝鮮に於て小學校に使用せしむべき尋常小學農業書、小學校補充教本の二種に付一言を費すべし。

一、尋常小學農業書（全二冊） 內地に在りては高等小學校に限り農業、商業、手工の一科目又は數科目を加設し得るも、尋常小學校に在りては之を加ふるを得ず。随て文部省著作に係る高等小學農業書なるものあれども尋常小學農業書なるものなし。然るに大正四年三月、朝鮮公立小學校規則を改正し、尋常小學校に於ても土地の狀況に依り、其の第五學年第六學年に農業又は商業を（手工は各校殆ど總て之を課しつゝあり）課するを得しめたり。其の趣旨たる小學校に於ても實業に關する趣味を長じ勤勞を尙ぶ習慣を養成せむが爲に外ならず。是に於て本府は尋常小學用農業書（全二冊）の必要を認めて之を編纂出版し、大正六年度より使用せしめつゝあり。今該農業書編纂の要旨を擧ぐれば左の如し。

1、普通學校農業書に於ては農業の概要を授け、低き程度に於て其の全般を知らしめたるも尋常小學校の內地人生徒は其の年齡普通學校の朝鮮人生徒より幼なるが上種々の事情を異にせるを以て、尋常小學校に於ける農業教授として實際施し得べき教材のみを揭載し、之を季節的に排列し、且つ朝鮮の事情に適する樣說明を加へたり。

2、尋常小學□□農業書と同樣に□□□を以て記述せしも、其の國語假名遣法は、前者は國定教科書と同樣歷史的假名遣とし、後者は普通學校國語讀本と同じく本府制定の假名遣法に依れり。

3、備本書の一特色としては、從來農業上に使用する作物の名稱等に漢字の甚だ困難なるものあり。又實業關係の語詞は到底尋常小學國語讀本にて充分學ぶことを得ざるにより、本書に於ては此等作物の名稱等は一切之れを假名にて記し（字は參考の爲欄外に註記す）、又本書中の漢字には大抵振假名を施し、以て生徒をして學習の困難を感じ倦厭の念を起す等のことを避けしめむことを期せり。

4、本書の內容は國定尋常小學理科書と聯絡せしめたり

二、小學校補充教本（冊數未定） 次に述ぶべきは小學校補充教本のことなり。抑も國定教科書は帝國全領土內の小學校に用ひしむべく編纂したるものにして、所謂普遍的のものなれば、各地の小學校に在りては其の地方に必要なる事項を適宜補充して教授するを有效とす。之れ文部省の編纂趣意書にも示さるゝ所なり。殊に朝鮮は內地の各地と頗る事情を異にせるを以て、各學校に於て此の點に關し相當留意して教授しつゝあるも、實際の狀況に鑑み、本府に於て朝鮮各小學校に使用すべき補充教本を編纂し、之によりて教授を完うせしむるの必要を認め、今や之が編纂中に屬し、本年度には少くも其の一部を出版する豫定なり。此事たる又他に類例なき一種の著述なるを以て、他日出版後大方教育者の批評を待つや切なり（完）

# 支那商工業の變遷（四）

今關天彭

## 十九、清代の商業（其二）

清朝の開港は鴉片戰爭からである。英人はその勢力を印度に伸し、さて鴉片を支那に賣つて居た。支那では之を嚴禁したが、林則除が兩廣に總督となるや、鴉片を聚めて燒き棄て、併せて港を封じて貿易を絕つた。そこで英人は大に怒り、翌年を以て開戰し、北は天津を破り、太沽の砲臺を陷れて北京を震ひ、南は厦門を拔き、上海に據り、揚子江に入りて鎮江を取り、南京を圍んだ。清廷は勢の抗すべからざるを悟つて急に和議を講じ、道光二十二年に、條約を結んだ。これを南京條約と云ふ。その重なる條款は、鴉片の損害及び軍費銀二千一百萬兩を償ひ、香港を割き、上海、寧波、福州、厦門、廣州の五個所を開いて商埠とし、國際文書に平等國の稱號を用ゆる等である。

これから後は、外人の勢力が頗る盛んとなり、亞米利加、佛蘭西もまた英國の例に倣つて通商を請ひ、尋で國際の交涉によつて商港を開くもの が相踵いだ。その中に就いて條約港は左の如くである。

條約港

△成豐十年（萬延六年）英國天津條約を結ぶ。また牛莊、奉天、天津（直隸）芝罘（山東）鎮江（江蘇）九江（江西）漢口（湖北）油頭（廣東）瓊州（廣東）を開く。

△光緒五年（明治九年）英國と烟臺條約を結び蕪湖（安徽）宜昌（湖北）溫州（浙江）北海（廣東）を開く。

△光緒二十三年（明治三十年）英國と滇緬條約を結び、梧州（廣西）三水（廣東）を開く。

△光緒二十八年（明治卅五年）英國と約し、惠州（廣東）萬縣（四川）を開く。

△光緒二十九年（明治三十六年）亞米利加、日本と訂約して、安東、大東溝（奉天）を開く。

非條約港は、左の如くである。

△光緒二十二年（明治二十九年）自ら呉淞を開く。この地は、江蘇省の寶山縣に屬して、上海に入る要衝の地である。

△光緒二十五年（明治三十二年）岳州（湖南）三都澳（福建）を開く。

△光緒二十七年（明治三十四年）秦王島（直隸）を開く。

△光緒三十年（明治三十七年）長沙（湖南）を開く。

△光緒三十一年（明治三十八年）濟南（山東）を開く。また濰縣、周縣を開きて濟南の分埠とす。

△同年（同）常德（湖南）湘潭（湖南）を開く。

△同年（同）海州、通州（江蘇）を開く。

△光緒三十二年（明治三十九年）南寧（廣西）を開く。

# 夏の金剛山

丸山晩霞

（六）內金剛の萬物相

摩訶衍から東北に向つた險逸なる谷を登つて行くと、種々の樹木が序著と楼茂して來て、敵して進み行くと、大小の小溪甕簾して漸く人間のもので無い、稀に鳥や十一鳥が遠く近く啼いてゐる。同じ鳥の聲でも聞く場所によつて感じが違ふ。いよ〳〵登ると行く手に灰色になつた一大巖崩が屏風の如く起つてゐる。その下を迥ぼりて右折左折須彌臺西南の山腹に出づると、須彌臺といふのがあつて西北が遼深さるゝ。東南は奇岩怪石削立して外金剛の萬物相に似てゐる。これは內金剛の奇勝地で又內金剛の萬物相と稱されてゐる。

# 大阪財界近信

△鮮棉移入交涉 內外棉會社にては朝鮮棉花移入につき讓りたる船腹を要するも根本問題として賃率を決定せざるべからざるより之が前程として同社係員は商船近海課を訪ひ商船の意向を問合したるが之に對し同課係員は現下に於ける傭船料と運賃率の關係を說述したり

△卜業出願續出 百數十隻の本邦トロール船は掃海用了て英佛伊の三國に賣却されたるため現在船は僅に四隻に過ぎず卜漁界は無競爭にて有利有望なりとし昨今出願者續出し其の數既に三百數隻に上れり併し其の大部分は權利獲得の旨汁を吸はんとする機會均霑の徒輩なるを以て當局にては許可せざる方針なりと

△運賃六倍弱 門司橫濱間石炭運賃は昨年の最高値二圓四十五錢最安値一圓八十錢なりしが十月より次第に形勢盛返し來り本年春に至り五圓臺を拔き頗く保合の末愈々好勢を極め特に南洋航路の大不足を來すを補ふため近海航路用の中型船を臺灣方面に使用する事となりし運賃も著しく昂騰を告げ門司橫濱間石炭運賃は遂に十圓九十錢の高値を見るに至れり之を昨年の最安値に比すれば實に六倍弱に昂騰したりと（大阪支局）

# 誰（五）

布施生譯

程なく警察署長は平服の刑事一人を從へて這入つて來た。保部氏は唐突に『事件はもう御承知でございませうね』『大體は聞いて居ります。六金が紛失致しましたさうで』『左樣、十四萬圓といふ金が此金庫から消えてしまひました。此金庫は御覽の通り文字合せ式で鍵と合□□とは此處に居ります此の出納係の鈴富一人が承知してゐる筈になつて居ります』鈴富は夢から覺めたやうに慌しく『御言葉の中でございますが、鍵や合言葉は御主人御自分も承知ぢやございませんか』『うむ、さうだつた』此爭ひを聞いた署長は腹の中で『はゝあ、此二人の間には何だか紛爭があるな、兩方が咎の擦り合ひをしてあるわい。』とは睨んだがこれは吃氣にも出さず『はゝあ、それから。』『私共に取りましても隨分迷惑を感じる金額でございまして』『御尤で何か支拂用に御準備なさつたのであれば猶更でしやう。』『いやそれが又丁度支拂用なんでして、しかも今朝拂渡す筈になつて居りました。』『はあ』と云つた署長は少し迂散な眼付をしたが保部氏はそれを氣取ると急込んで『いや其支拂には滯りなく睨じましたから御安心を願ひます。これは兎に角鈴富が私の吩付通りに致しました、今度の十四萬圓を昨晚金庫に藏つて置くことがなかつたのです。』『云ひますと私共では夜中金庫に大金を入れて置かない事にしてございます、金など云ふ時までは中央銀行から金は引出さない事に定めてございますのでして、夜中大金を金庫に揃へておく事は私共では嚴に誡めて居ります次第です。』『さうだね、君、保部樣はあゝ仰有るが。』と鈴富に訊ねた署長は『その通りでございます』と鈴富が答へるのを聞いて、今迄保部氏が迂散臭いやうに思つたのが間違ひだつたと思ひ直した。と改めて聞くと、保部氏は少し考へ『賊は戶外から這入りましたかな』『どうも其樣は思へません』と云ふ鈴富も口を挾んで『私もさう思ひません』これには署長も初から同意であつた。しかし猶念の爲よく現場を調べる必要があるので、署長は伴れてきた刑事に向ひ『阪君は現場を調べてくれ給へ』と吩咐けた。阪と云ふのはまだ此職業に就いてから五年になるやならず、之から署長に出さうと云ふ若手の刑事で、身が輕くて擧動が非常に敏捷な所から栗鼠と云ふ渾名がついてゐる。署長の命令が下らない先から阪探偵はもう油斷なく金庫部屋の研究をしてゐたのであつたが今署長にかう云はれて『私の考にも戶外から賊が這入つたやうに思へません』と答へながら鈴富に向ひ『此室は夜中錠が下りてゐるんだね』『下りて居ます』『鍵は誰が預つてゐる』『私が退省際に番人に渡して置きます』これから更に署長と探偵とが保部氏と鈴富と更に番人を喚んで糺した所に據ると、番人の部屋は金庫部屋の對方にあつてこれは晝の開閉切つて臥く事、番人は昨晚確かに宿直部屋に宿直した中、床に就いたのは十時半頃で宵の間は主人の馭者と一寸近所で一杯やつてゐた事、夜中には何の物音も聞かなかつた事、耳敏い男だから主人が夜中二階から階下へ降りる響でも毎時も眼が覺める事、昨晚主人は一度も階下へ降りなかつた事、之は此男が宵の口に飲んだ珂琲に浮かされて大方曉方まで寢つかれなかつたから間違ひはない事などであつた。

本紙定價 一部金二錢五厘 一ケ月金五十五錢 郵稅一ケ月金十三錢 前金に限り三ケ月分金一圓五十錢 六ケ月分金三圓 一ケ年分金五圓八十錢 ▲郵券代用二割増
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢 ▲三號活字十二字詰壹行金壹圓 ▲同上四號活字廿一字詰壹行金八拾錢 六號活字廿一字詰壹行金貳拾錢
發行兼編輯人 奥田直一
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用三四五番 營業用三六番 印刷用一二一番 工場用二二〇番 振替貯金口座京城一二六六〇番

▲薄商內小甘 [illegible] したるが戻りは又賣物多く徐々に一錢と支へて氣乘り薄の裡に小[illegible]一錢と押し[illegible]を示して寄合 共入起九十二錢 九月限十九圓九十二錢

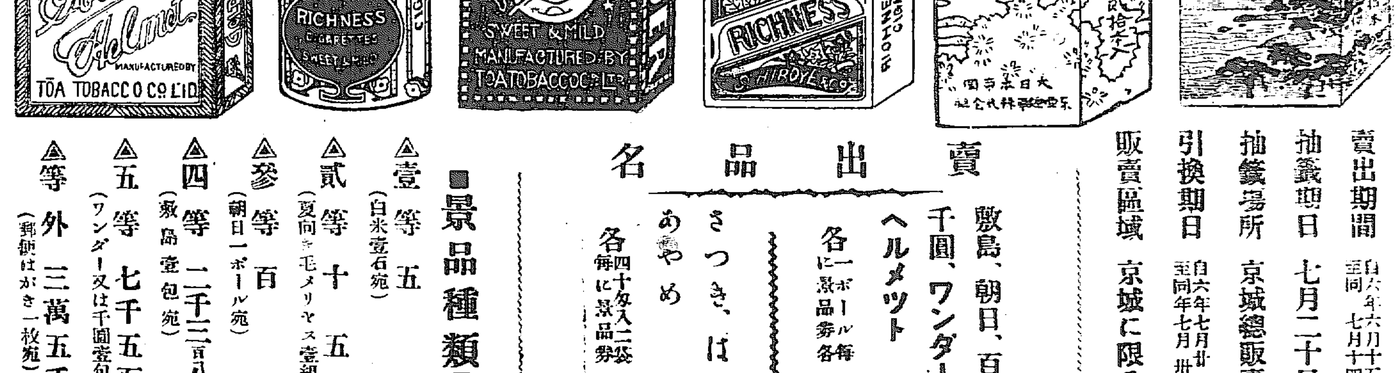
場は後場[illegible]情勢に荷き崩れと新規買の多きに依るならんも前日米買過ぎ反動も大原因を爲し居れり今や大天候明なる前日の降雨にて天候相場は宿分無之只正米界の情勢と大阪の高低如何に依る外なしと併し黃海道方面には尙水不足を悼へ居るの場[illegible]

七日の九月限
寄付 十九圓九十二錢
後止 十九圓九十一錢

◎叔父を亂打す
全北南原郡德果面璽洞金仲玉（二二）は六月二十一日飲酒し地上里金元旺（五七）と金錢貸借のことより格鬪の末元旺の橫腹を蹴り[illegible]に異狀を來して翌日遂に死亡せしめたるより驚きて姿を晦ましゐたるを七月二日南原憲兵分隊の手に逮捕さ[illegible]

中元景品附大賣出し

◈何を撰ぶべきか!!
□中元御贈答用品の値段は何れも突飛な暴騰を見ました
□此際値段の少しも上らないのは東亞煙草のみであります
□今の期節に東亞煙草位い便利重寶のものは有りますまい




賣出期間 自六年六月十五日 至同七月十四日
抽籤期日 七月二十日
抽籤場所 京城總販賣所
引換期日 自六年七月廿一日 至同年七月卅日
販賣區域 京城に限る

賣出品名
敷島、朝日、百圓
千圓、ワンダー、
ヘルメット
各一ボール毎に景品券各一枚
さつき、はぎ
あやめ
各四十匁入二袋毎に景品券一枚

■景品種類■
▲壹等 五本（白米壹石宛）
▲貳等 十五本（夏向き毛メリヤス壹組宛）
▲參等 百本（朝日一ボール宛）
▲四等 二千三百八十本（敷島壹包宛）
▲五等 七千五百本（ワンダー又は千圓壹包）
▲等外 三萬五千本（郵便はがき一枚宛）

東亞煙草株式會社

# 第卅九回特別帝國議會

## 衆議院（七日）

七日の衆議院は豫算案の上程に傍聽席滿員を告げ十時二十分開會
大正四年度豫備金支出の件外二件
阿片法中改正法律案
日本勸業銀行法中改正法律案
農工銀行法中改正法律案
北海道拓殖銀行法中改正法律案
產業組合法中改正法律案
工業所有權戰時法案
銃砲火藥類取締法中改正法律案
の諸案は夫れ〲主務大臣より提案理由の說明あり各特別委員に付託され次で
裁判所設立に關する法律案
大正三年法律第九號中改正法律案
以上二案第一讀會の續に移り委員長戸水寬人氏登壇委員會の結果を報告し且附帶決議案の希望文を朗讀し讀會省略可決確定次で
北海道拓殖鐵道建設利子支出に關する法律案は小林源藏氏（政友）
輕便鐵道補助法中改正法律案は樋谷豪三氏（政友）
軍事救護法案は田邊熊一氏（政友）
軍人恩給法中改正法律案は漆昌巖氏（政友）
大正五年法律第四號中改正法律案は齋藤安雄氏（政友）
電話事業公債法案は白石直治氏（政友）
各委員長として特別委員會の經過を報告し電話事業公債法案には早速整爾氏（憲政）反對演說河上哲太氏（政友）贊成演說を爲し其の他は讀會省略にて全部原案を可決し正午休憩せり（東京特電）

# 動亂の支那

## ▲張勳の窮狀と政權拋棄

張勳氏は總ての政權を拋棄し爾今一切の事を徐世昌段祺瑞兩氏に託するに決し非公式に林公使に此旨を通告せり其結果國體は講和會議の主題となる可きも結局復辟は取消しとなるべし尙段祺瑞氏は國體の如何に拘らず斷じて宣統皇帝に危害を加へずと宣言せり（北京特電）

## ▲北京附近兩軍兵力

七月五日午後八時迄に知り得たる處に依れば張勳派に屬する北京附近の兵力は定武軍（步兵八營を基幹とす）第十三師團の第二十五旅團及び近畿混成第一第二旅團にして段派に屬するものは第三師團及び第八師團なり張懷芝氏中立を標榜し倪嗣冲氏は旗色鮮明ならず以上の外北京附近に於ける軍隊の旗色は未だ明かならざるも張勳氏は之を自派と認めざるもの〻如く郎坊方面に於ては五日正午より戰鬪開始せられ張勳軍の損害大なりとの說あり（北京電報）

## ▲段軍張軍を追擊す

張勳討伐軍總司令段祺瑞氏は天津に入り政廳衙門に總司令部を置きたり尙東路司令段芝貴氏より總司令への報告に依れば六日午前四時五十分段芝貴自ら三個中隊を率ゐ萬庄方面に進軍中郎坊北方十支里の地點に於て張勳軍と衝突し最初は張軍頑强に抵抗せしも七時三十分退卻を開始し段軍は目下追擊中（北京特電）

## ▲張勳術中に陷る

支那通矢內汪洋氏は七日商船臺東丸にて大連より門司着其の談に曰く『復辟は來る十五日頃發表さるべき筈なりしが其の意外に早きに驚きたり這は張勳氏の强要に起因せるは勿論なるも一面南方派の術數に陷りたるものにて南方派は今や手を拍ちて悅び居るなるべし而して其の結果は張勳氏を始め北方派は大打擊を受け久しく勢力を失墜し居りし南方派は稍其の勢力を盛り返すに至るべき也』と（門司特電）

## ▲張勳幕僚兩派の論爭

張勳氏は六日午後五時最後の決心を爲し十臺の自動車を連ねて豐臺に赴き段祺瑞と決戰せしが折柄幕僚中の主戰派と講和派の間に激論を來し張勳氏は王士珍氏に調停を託したるが右調停は困難を極めつゝあり（北京特電）

## ◎築港陸上設備

元山港築港に關する陸上設備計畫成り赤田川右岸の工事は大正七年度より再び着手すべし（元山特電）

## 聖上卒業式臨幸

陸軍戸山學校にては七日午前九時半卒業式を行ひ大元帥陛下臨幸優等生に恩賜品の御下賜ありたり（東京特電）

## ◎近野工兵監渡鮮

工兵監近野鳩三氏は七日門司解纜の宮島丸にて淸津に向へり（門司特電）

## ◎鮮鐵工事近況

▲淸會線の建設 淸津會寧間中淸津蒼坪間は既に營業列車を運轉せるが其の一部たる淸津蒼興間十四哩七分は今尙工事中にして土工橋梁は全部を通じ九分九厘迄竣工を見たり蒼坪以北全距離近の未開區間約八哩の線路工事は五月中旬大體の建設を終へたり

金距離區間の七哩四分は土工七分七厘橋梁八分五厘通の成工にして此の間に在る富寧[illegible]（延長千百二十呎）は[illegible]築南口三百十九呎北口[illegible]成工なり[illegible]中島[illegible]（延長千三百五十呎）の二隧道は[illegible]成工にして中島隧道は[illegible]北口百七十一呎[illegible]完成[illegible]八分三厘方の進捗を見たり

▲元永線及び京元線 開業線元山永興間の內延設工事施行中の龍興橋梁及び前後の土工其の他は土工六分橋梁二分全體を通じ三分通の成工にして德川外八個所の橋梁保護捨石新設工事は六月一日之を竣成せしめ又京元線三防高山間土留石垣其の他は六月中旬全部竣工せり

北方約六十鎖淸凉を隔る四十哩二十一鎖に達し建築列車運轉しつゝあり軌道の敷設は全距離停車場豫定地の

▲京釜線の改修 京釜線改良工事中金泉秋風嶺間十哩一分は土工二分五厘橋梁一分五厘の成工にして隧道工事は[illegible]（延長二百三十八呎）六月二十一日開通し[illegible]（延長千九百八十呎）の導坑九百五呎を新村（延長四十二呎）導坑八百十八呎を掘鑿せり秋風嶺永同間十三哩六分は二工區に分ち施工中なるが第一工區は土工橋梁各五厘の成工にして此の間の隧道工事及び第二工區は[illegible]停車場前後五哩四分の線路工事は着手後日尙淺くして工程を計上するに至らず沃川大田間八哩九分は土工五分五厘橋梁六分五厘の成工にして隧道工事は增若（延長三千三百九十九呎）の導坑掘鑿千五百七十六呎及九丁里（延長千二百八十七呎）の導坑掘鑿八百五十八呎に達せり

## ◎京畿土木費

大正五年度中に於て施行したる京畿道土木費總額は通常土木費及び災害土木費を合して九十二萬三千九百二十七圓八十六錢四厘にして其の事業を內譯すれば道事業二十九萬四千五百八十七圓九十五錢府事業五萬七千六百六十三圓八十七錢郡島事業五十五萬七千四十三圓八十九錢四厘面事業三千六百七十三圓二十錢、私人事業一萬九百五十八圓九十五錢なるが右土木費は國庫補助四萬三千四百圓地方費二十五萬五千百四十四圓十九錢地方費補助一萬八千三百六十五圓三錢夫役見積額五十六萬七千三百七十九圓五十錢協議費千四百十九圓六十四錢寄附金四百六十七圓十一錢四厘寄附物件見積金九十三圓二十錢現金四百九十五圓三十二錢府費三萬七千百六十三圓八十七錢なりと云ふ

尙ほ本年は雨期に入りても降雨比較的少きにより目下各方面も豫定の如く工事進捗しつゝあり

## ◎最近朝鮮經濟

去る五月中の朝鮮經濟槪況を見るに同月の貿易は例年閑散の時期に入り輸出貿易は棉花取引の一段落と移出米の不振に由り又輸入側は石油及び諸器械等の關係にて共に前月に比し減少したるも民間貸出は百二十三萬圓を增加したり是は東拓及び殖銀行に於ける產業資金の貸出激增せると在來米滯貨の斯納等の關係に在る作付肥料の見越輸入加はり外米及滿洲粟の輸入を誘致し更に中旬には內地米界の餘波をも受けて米價は騰貴し在の商值を唱ふるに至り地方買出に腐心するもの多く是等買出資金に支那麻布其他夏物仕入商取引等の活氣を呈したる等に依る而して民間預金は日二百五萬圓を減少したるも銀新株拂込金の振替關係に依るものにして之を差引く時は前月に大差なく各銀行金銀出納は各一千七十餘萬圓を增加し鮮銀券發行高亦た五十二萬圓の增加を示し金融は比較的繁忙なりき

## ◎試航と視察者

朝鮮郵船會社が橫斷航路開始の第一步として同社船平壤丸は來る八月二日元山港解纜敦賀に向け試航の途に就く由なるが北鮮沿岸人士は此機會を利用し大に商圏の調査及び之が獲得に努めんことを期し彼地に向はんとの希望を有する者非常に多く淸津及び城津咸興其他の沿岸を通じて約三四十名の希望者あり元山丈けにても有力なる貿易商、商業會議所議員、繁榮會員、休暇を利用す可き官吏等にて三十餘名と算せられ同船今回の航行は恰も北鮮に於ける一大視察團を搭載するの觀あり尙ほ仄聞する處に依れば元每社に於ては右の狀況に鑑み特に便宜を圖る爲め或は視察團を組織せんかと目下研究中の由（元山）

## ◎京畿黃海虫害

京畿道江華郡一圓金浦郡管內始興郡北面長湍郡一隅に夜盜虫發生し麥、粟、稻、陸稻、苗代等の被害甚しく道に於ては其の發生と同時に農業技手並に警察官を派遣して極力驅除豫防に努め居れり又黃海道鳳山郡管內に同じく夜盜虫發生し發生と同時に農民各自をして之を捕殺せしめつゝあり此被害面積は約十七町步なり

## ◎京畿春繭販賣（第三日）

京畿道春繭共同販賣は豫定の如く去る五日其の第三日を坡州加平兩郡に開催せるが加平郡に於ける集繭總量約二百三十二石にして此取引總價格約一萬五千五百七十六圓取引產繭品等特等以上の平均價格一石當り七十一圓二十三錢賣上總平均單價六十圓九十三錢を算せり又坡州郡に於ける集繭總量は約六十五石にして此の賣上金額四千二百七十一圓餘取引產繭特等より等外迄の平均價格一石當六十四圓總賣上平均價格五十六圓なりしと因に六日は楊平郡の共同販賣を擧行し尙京畿道參與官の出張ありたる筈、今加平坡州兩郡に於ける販賣狀況を示せば左の如し

▲加平郡

| 品位 | 單價（圓） | 數量（石） |
|---|---|---|
| 特等 | 八四、六〇 | 〇、四二〇 |
| 一等 | 八〇、六〇 | 一九、九五〇 |
| 二等 | 七八、二〇 | 三二、九六五 |
| 三等 | 七六、〇〇 | 八四、四九三 |
| 四等 | 六四、〇〇 | 五三、三九〇 |
| 等外 | 四四、〇〇 | 二三、〇四〇 |
| 屑繭 | 二八、七〇 | 九、七三八 |
| 玉繭 | 三一、三〇 | 八、五三〇 |
| 合計石數 | | 二百三十一石五斗二升六合 |
| 賣上總價格 | | 一萬五千五百七十六圓九十二錢 |

▲坡州郡

| 品位 | 單價（圓） | 數量（石） |
|---|---|---|
| 特等 | 八四、〇〇 | 五、七八〇 |
| 一等 | 七六、七〇 | 一八、四六七 |
| 二等 | 七三、二〇 | 一四、一三〇 |
| 三等 | 六三、〇〇 | 一二、二三八 |
| 四等 | 四七、一〇 | 四、八七七 |
| 等外 | 四〇、〇〇 | 三、六四八 |
| 屑繭 | 三一、五〇 | 三、三一七 |
| 玉繭 | 三二、七〇 | 二、五八三 |
| 合計石數 | | 六十五石三升 |
| 賣上總價格 | | 四千二百七十一圓十九錢 |

## ◎二十八師出動牽制

張勳氏は北京援護の爲め馮麟閣氏の第二十八師に出兵を命じたるが留守する汲旅長は其の進退に迷ひつゝあり又討伐總司令部は第二十八師を牽制する爲め京奉鐵路總局をして山海關、奉天間の列車の運轉を禁止せしめたるより天津、奉天間は六日夜より不通となれり但し郵便車のみは一日一回の運轉を爲し居れり（東京特電）

## ◎露都婦人決死團閲兵

露都六月十八日露都にて第一婦人決死團閲兵式を行ひ勇ましく鮮かなる操銃振を示せり（哈爾賓特電）

## ◎手形交換激增

六月中に於ける京城手形交換所の交換高は枚數四萬一千九百二十八枚其の金額一千零十二萬五千三百四十六圓を示し前年に比し四百萬圓、前月に比し三十萬圓の增加となり市況の繁忙を語り居れり尙ほ一月以降の累計は二十三萬百廿九枚五千[illegible]九十四萬五千九百三十三圓なりと

## ◎洞里長給與整理

洞里長給與整理は數年來の懸案にして之れが整理方針に就ては各道長各郡に對し從來屢次指示を爲しつゝあり又各郡とも夙に之が整理に着手し總て之を名譽職と爲し具若干の報酬を給することに止めたるもの尠からざりしが爾來其の趣旨の徹底に勉め全部無報酬に改めたるもの少しとせず今京畿道管內に於ける今年度の里長報酬額を往年度に比する時は大正四年度に比して四萬七千四百圓大正五年度に比して二萬一千九百七十餘圓を節減するに至れりと而して里長事務に就ては大正五年八月其種類を限定したる結果近時漸く其の實を擧げつゝあるが右整理の結果は竊に里民よりは無名の金品を提供するものなきを保し難きを以て一般該趣旨の周知を圖り苟くも無名の金品を提供するが如き事無き樣殊に當局は注意を加へつゝありと云ふ

任朝鮮駐剳憲兵分隊長 陸軍憲兵大尉 隈元巖
同 中倉慶治
同 阿久井福己
同 古屋忠三郎
免本職補朝鮮駐剳軍憲兵分隊長 [illegible] 小林[illegible]
[illegible] 佐々木格太郎
憲兵中尉 柏木仁義
同 西尾庶衛
同 高橋庄一

## ◎眞鰹漁獲研究

全羅南道羅老島沿海に於て每年四月中旬以降七月中旬迄を漁期とし殊に五六の兩月は最も好漁期とさせる（鰹）は鮟鱇網一統に付百五十圓乃至二百圓の漁獲をなせる狀況なるを以て佐賀縣漁業組合羅老島支部に於ては該魚漁獲に專用する改良漁網を以て漁獲に從事せば他の漁業に比し意外の好成績を收め得べしと目下鋭意研究中なりと（釜山）

## ◎共同購牛契成績

京畿道管內に於ける各年末現在購牛契總數は百五十に達し契員數一萬二千六百三十四人を算せり而して大正五年以前に於ける購牛數は二千四百六十八頭又同五年度に於ける購牛數は二千三百二十三頭契組織以來合計四千七百九十一頭を算せり

## ◎印紙收入增加

印紙貼用事項の增加に伴ひ總督府の印紙收入は非常の勢ひを以て增加しつゝあり現に四五兩月の收入は七十六萬一千圓に達し殆んど通信收入の總額に拮抗せんとし之れを前年同期に比すれば二十七萬九千圓の增加を示す由

## ◎松永道長官視察

松永京畿道長官は仁川に於ける漁業實地視察の爲め七日仁川に赴き即日歸任

## ◎隈部大佐歸任期

豫て東上中の京畿道警務部長隈部大佐は六日朝東京發の旨電報ありたれば八日中に南大門着列車にて歸任の筈

## ◎小樽高商生來鮮

小樽高等商業學校生徒約五十名は職員引率の下に來る九日午前八時安東縣方面より入京約二日間滯京の筈

## ◎荏原郡視察團歡迎

東京府荏原郡教育視察團一行二十六名は去る六月十五日東京を出發し上海、青島、大連、奉天、哈爾賓の各地を視察し六日午後入京の筈なりしが途中船繰悪しく豫定より遲れ數日中に入京の筈に付き在京城同郡出身者は一行の歡迎會を催す計畫あり同郡人にして出席希望者は京城府營繕掛大出氏迄申込まれ度しと

## ◎博物館觀覽人員

去る六月中に於ける博物館觀覽者合計一千七百六十七人にして[illegible]

## 人事

▲新藤孝之氏夫妻（陸軍大尉）七日夜入京[illegible]旅館へ
▲長崎幸治郎氏（東洋製紙技師）同夜渡京
▲長崎健一郎氏（神戶伊藤長兵衛商店）▲池田丸一郎氏（同部員）同上
▲加藤政次郎氏（貿易商）同上

## 南言北語

『張、段兩軍郎坊にて激戰』などの電報が來たので『ハ、ア少しはやつたかな』と後報を待て居ると『兩軍死傷一人もなし』は驚く▲死傷者の一人もない激戰なら演習だつたろう▲イヤ前年郭家店の支那軍の激戰の時などは▲支那軍は鐵砲を擔いだまゝ天に向て盛に攻擊をやつた▲今度も其の格で遊に青をさせて激戰と思はしたんだらう▲之れだから支那の事は島渡判らぬ▲張勳手兵一萬を率ゐて入京などゝ傳へられたが▲切角で四千位のものだつた▲段祺瑞の手兵五個師團と稱せられて居るがザツト四萬位のものだ▲支那現在の軍備は百三十四個師團などゝ唱へて居るが▲其の實多くは名許りの師團で兵數なども皆無不明で疑問である▲疑問と云へば一體張勳老が今度の樣な大騷動をやる金を何うして持つて居るのだらうと不審かると▲某支那通の曰く『是は內秘だがネ、實は多數の部下が遠い所へ出懸て盛に掠奪をやるんだ▲併し自分の領內は決して荒さぬから其處は安心サ』と▲何にが安心になつて溜るものか荒さるゝ處は大迷惑だ▲而し之れ位の事はあろう廣東省では軍費を得る爲に賭博の公開を許可した程だもの▲三日の衆議院で尾崎氏の失言取消可否採決の投票中▲野田大塊翁は隣席の大岡議長の席にあつて何の氣も付かず大岡君の名刺を摑んで行きなり其儘投票箱に投じて後に思ひ出し▲最一度投票をやり直し一句を示して曰く▲『暑さ哉容家の札を持參して』之れは何うだいツアッハ、、

◎戎克運賃騰貴 鴨綠江航行支那戎克一隻の積載量は普通[illegible]下航[illegible]三百圓內外の程度に騰貴し加ふるに遡江戎克の數昨年に比し幾[illegible]賃騰貴と運搬具缺乏の爲め商業上[illegible]ざる打擊を蒙りつゝあり

◎兵隊異動 既報の外六月[illegible]

五日大連より門司に入港せる鈴木商店所有汽船愛國丸水夫長は疑似虎列[illegible]

六日夜より[illegible]颱風雨にて岐阜縣長良川の鵜飼を中止せり（大阪特電）

[illegible]盟罷業を爲したるが高島組の態度は依然强硬なり（大阪特電）


◎タツタ一ヶ月五十錢の拂込で六通の債券の抽籤權利がこれ完納すれば大割增金附き勸業額面拾圓債券が手に入る
年中月くじを見る事ができる面白債券購入法最初十ヶ月一口五十錢宛合計五十錢の拂込になればすぐ申込金五十錢を御拂込になれば直ちに六通債券の年中每月抽籤權利附債券番號記入の引換證券を御送り致します其後は每月五十錢宛の拂込で債券が買へます
京城府長谷川町 振替京城三五七五番 日本勸業銀行債券月賦販賣所

金丸の鐵砲でこの通り!!!

新荷着 獵銃、獵具、火藥、散彈、其他全備
横濱市本町 合資會社 金丸銃砲店 店主 西村潤藏
（獵銃定價表郵呈）
電話一五五番及六五三番 振替口座東京四七一番

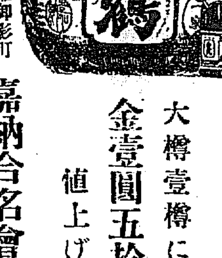
有給 外勤 內勤 社員募集
眞面目なる活動家及事務家を望む御希望の方は履歷書左記代理店迄御郵送を乞ふ
但履歷書は採否に拘らず返却せず
明治生命保險株式會社 京城出張所 假事務所大和町二ノ五五
同代理店 山口呉服店 本町二丁目 電話長九番 三九番

京告
謹啓各位益々御多祥奉大賀候陳者弊店這回大阪盛文館寳文館等の後援の下に經營致候事に相成候就而は茲に一大革新を加へ面目を改め從來の不備を整へ誠實を主として奮勵可仕候間何卒多大の御同情に浴り御用命を賜らん事を奉懇願候 謹言
日韓書房

梅雨明けに聽て來るべき
銷夏の讀物!!

| | | |
|---|---|---|
| ▲諸家稗史小說 第一集 | | 三八 |
| ▲旅 | 田山花袋 | 一、二〇 |
| ▲十 | 岡本米藏 | 一、〇〇 |
| ▲[illegible]筒 | 同 | 一、〇〇 |
| ▲野球年鑑 | 大阪朝日新聞 | 四〇 |
| ▲吾輩は猫である | 夏目漱石 | 一、三〇 |
| ▲文學論縮刷 | 同 | 一、七〇 |
| ▲舞殿 | 笹川臨風 | 九〇 |
| ▲獨乙伯林城下の誓ひ | 松尾正直 | 九五 |
| ▲[illegible]道教本 | 森田孝次郎 | 一、二〇 |
| ▲波のまに〱 | 水野廣德 | 六〇 |
| ▲此一戰 | 同 | 六〇 |
| ▲日本溫泉案內 | 宇野濟邦 | 九〇 |

其他新刊品到着
京城 振替一一五番 日韓書房

特優清酒


來る七月十日より弊社發賣各酒とも値段改正致候間不相變御愛顧願上候
大樽壹樽に付 金壹圓五拾錢 値上げ
釀造元 兵庫縣灘御影町 嘉納合名會社
特約店 京城本町 電話一三七番 前田酒店
京城本町 電話七六四番 田中支店

…於ける之れが運賃は從來遡航の場合百五十圓下航の場合百八十圓内外の程度なりしが本年に入りては普通上
…の爲め例年支那戎克船を利用して大豆其他の雜穀類を下流方面に搬出し居れる新義州鮮人商人の如きは目下運

◉覇を稱ふ兵士と勞働者

露國内に於ける食料品の大窮乏

◆◆總ての機關には勞働者及び兵士の委員派遣せられ其の實權は彼等の手に在り◆◆

去月二十日露都を發し三日長春に來れる佐藤某と云へる歐洲開戰以來露都に在りたる實業家の話しを聞くに今回の革命後下層の兵士と勞働者との勢力旺盛にして智識階級の言議は一切用ひられず國政は兵士と勞働者とによりて左右せられ居れり、戰線に在る者等が

▽現在の戰線 を守り得るや否やは問題なり、同國今日の狀態は外敵に向ふより國内の秩序を如何にするやが問題なり、露人は現下の狀態は火山の如く何時爆發するや計り難しと云ひ或は智識階級は自然の成行に委し

▽自覺を待つ より外手段なしと稱し居れり、下層民が勢力を得たる事とて勞働者の鼻息非常に荒く資本主が勞働者の要求に應せざるか或は解雇にても成すならば直ちに多數の兵士勞働者に襲はれて非常なる制裁を蒙むるを以て只彼等の云ふが儘なり、裁判所、警察、行政、廳等

▽總ての機關 には是れ等勞働者及び兵士の委員派遣せられ其の實權は彼等の手に在り、故に露國の國政は目下兵士と勞働者とによりて左右せられ下層民が極端なる自由思想を高唱し社會は無階級なるべし人類は自由なるべしと叫び

▽納稅する者 少く營業者は無屆の勝手放題なり物貨及び食料の缺乏は非常にて日常の食物の如きは其の品物の選擇よりも胃袋を充す事が容易ならざる有樣にあり、同國の智識階は如何にせば彼等を治め得べきやに就ては

▽大いに苦心 せるが一策として日本が露國内の擾亂に乘じ浦鹽に軍艦を派遣し攻擊を始め哈爾賓は多くの日本軍によりて占領せられたりなどの說を流布し彼等の盲動を防ぐの一手段に供せり一時露字新聞に種々の風評を揭載せるはそれ等に基くものあり、最近

▽共産主義を 主張するものありそれに雷同して餘程強大なる勢力となり居れり、そは土地は必ず國有ならざるべからず、而して一人平均の分配を受け其の割當を各自が自ら耕作し若し自ら耕作し能はざるものは國家に返還すべしと云ふにあり爲めに各富豪は大恐慌を來し居れり(五日長春發)

◆東宮御動靜

名和神社に行啓

東宮殿下には七日午前五時五十九分鳥取縣境港に御上陸名和神社に行啓松の御手植あり八時三十分名和假停車場御發車十時三十分境港より軍艦安藝にて隱岐に向はせらる(大阪特電)

記(…)…動ありたり

朝鮮駐箚憲兵隊司令部副官 憲兵大尉 三上磯吉
免本職補弘前憲兵分隊長兼弘前憲兵隊副官

(通各)

…憲兵中尉 …
兵庫憲兵隊長…(?)
…憲兵中尉 高橋庄一
長崎憲兵分隊…
京城憲兵分隊 青木貞一
…憲兵中尉 柏木仁義

春川憲兵隊附を命ず
同 前川清
咸興憲兵隊附を命ず
憲兵中尉 小林巖

◉名譽戰死者

葬儀執行

地中海にて名譽の戰死を遂げたる榊艦長上原中佐驅逐隊機關長竹垣機關中佐の葬儀は七日午後二時青山齋場に於て執行伏見宮殿下より榊の御下賜あり伊集院元帥以下海軍將校の參列多く盛儀を極めたり(東京特電)

◉飛行機墜落

操縱者は無事

陸軍飛行隊は千葉縣下志津原に於て飛行演習中一臺墜落せるも操縱將校は無事なり(東京特報)

◉魔の霧

汽船十餘隻の立往生

十二日目に辛くも入港

昨今南鮮地方の濃霧は近年稀なる濃厚を極めしことゝて船舶の航行困難なること名狀すべくもあらず先月釜山港を發して群山に向ひたる汽船天地丸は間もなく濃霧に包まれ空しく

▲海上に彷徨 すること十一日間にして辛くも本月六日午前目的の群山港に入港する事を得たるが同船長の談に依ば釜山木浦の兩港間に於て今尙ほ苦しみつゝある汽船十餘隻あるべく爲めに同日早朝之れが所在搜索の爲め群山より

▲警備船出動 せり殊に先月二十六日鎭南浦を出帆して鎭南浦に向ひたる中村組所有汽船第一小榛丸は一時全く行衞不明となり爲めに其筋にても手配中にて懸念されゐたりしが同船も十餘日を經て六日午前辛くも鎭南浦に入港したりと

◉百餘名の土匪

土民を襲ふ

昨今山東省各地方に於ては土匪跳梁を極め被害を蒙る良民少からず然るに先月來分駐陸軍の一時津浦線に集中されありし爲め土匪防備手薄なる地方にありては已むなく彼等が橫行に任せたる事ありて甚だしきは六月中旬濟南西方博平縣城を去十五支里の陳子屯に於て土民等市を開き居る處へ百餘名より成る土匪の一團突然來襲し多數の人を傷づけ手當り次第物品を奪ひ衆人の逃げ去る後同地の錢舖敎盛堂を襲擊せるに店員等牆壁に上りてよく防戰せる爲め土匪等侵入する能はざるに依り多く薪木を集め日沒を待つて牆坡に寄り該薪木を積て石油を注ぎ火攻を初め遂に牆上にありて樓房を燒き盡くし一齊に突入し店員二名を殺し三名に重傷を負はし婦女を辱めて馬を引出し馬車に附し大洋四千元と銅元數萬吊を積み全家に火を放ち悠々と引揚げ街沿道にて到る處掠奪をなせりと(濟南)

◆齋藤軍曹の名譽

恩賜の銀時計を賜はる

平壤步兵第七十七聯隊附陸軍步兵軍曹齋藤英三郎氏は七日舉行せし陸軍戶山學校卒業式に於て優等生として恩賜の銀時計を賜はりたり(東京特電)

◉布敎所主任寺

有金を橫領す

開城松都面西本町大谷派本願寺開城布敎所主任今濱亮成(五〇)は以前滋賀縣坂上郡長濱町來園寺にて佛具の保管中内五點(二百六十圓)を其儘攜へて渡鮮し昨年十月中京城南米町岩崎丙作より借金したる際件の佛具を擔保に提供流用し尙其後開城にて不用品となりたる寺有物品を賣却したる代金數十圓を寺有財產帳に記入せず私用に浪費し昨年十月中寺用名義の下に情婦成瀨たみを同伴して内地に旅行して寺の所有金を濫費したること等發覺して此程開城警察署に引致取調べを受け檢事局へ廻さる

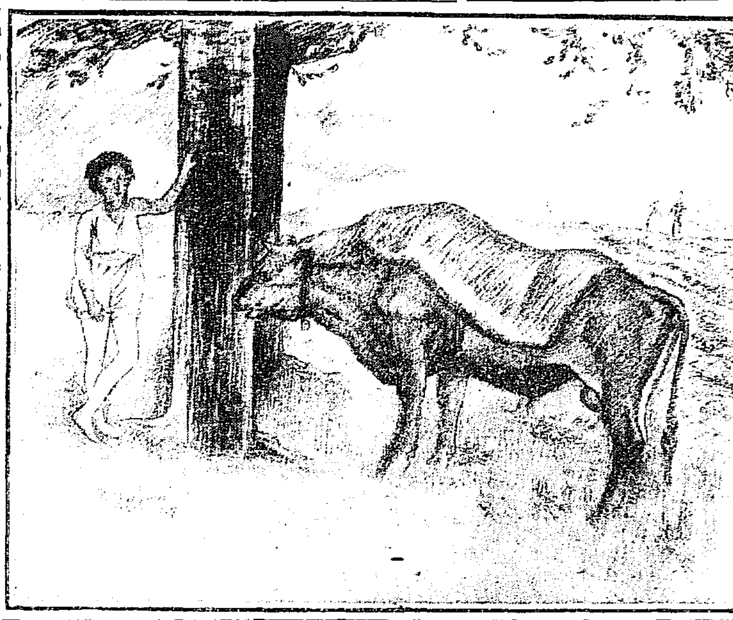
◉顚落自動車營業者處刑

六箇月の禁錮言渡

六月二十日慶尙南道晉州郡班城面の急坂にて鎭海要港部司令官東鄉吉太郞中將、同主計中監棚町五十吉氏、同海軍少佐菅門卯三郞氏等が搭乘せる自動車を四面餘の谷底に墜落せしめたる結果死傷者を出したる同自動車營業者諸川道正は四日晉州地方法院支廳にて六箇月の禁錮に處する旨言渡ありたり(馬山特電)

◉船長行衞不明

▲榊港丸擊沈の詳報 大連榊港汽船會社所有船榊港丸(三三一二噸)は二日地中海に於て敵艇の襲擊を受け沈沒し船長外二名行衞不明となれり(東京電報)



◆驟雨　鶴田櫟村畫伯筆

◉馬山の情死

馬山部町百牧市場事務員寺井虎吉(二三)と同鎭海萬歲館の藝妓花子(二〇)は六日夜鎭海沖にて情死せる事七日朝發見男は蘇生せしも女は死亡せり(馬山特電)

◉鮮少年の自殺

開城大和町居住鄭敬祿(二〇)の父は某所の小使を勤め居れるが鄭敬祿は六日朝未明小刀にて切腹し溫突より前庭にころび出で苦悶し居るを家人が發見し大騷ぎとなり隣人驅け集り其筋に急報したるより警官並に宮崎警察醫同時を移さず現場に出張し應急手當を加へたるも其效なく二三時間にして絕命せり(同上)

◉倉庫破り

全南羅州郡南平居住崔敎宋(二二)同金小者(二七)金又岩(二三)等は共謀して昨年六月同地理髮店白石百藏方へ忍び入り金箱より二十三圓を窃取せしを手始めに本年六月頃迄の間に同地沼部德次郞の倉庫を破り米を盜み鄕校所有の金屬食器を取り居酒場の硝子を外して賣り飛ばし酒幕金官采方の溫突を破つて忍び入り反物十四反を水上武吉の自轉車を立川和一方の布團を高鍋訓方の縣布四十二匹を豐坪篠太郞の荷車を松山源次方の人力車二臺を竊取して之を賣り飛ばし山分けして酒色に使ひ果せる事判明し遂に取押らへれて光州法院に送られ金又岩は懲役一年六月殘る二人は各一年の懲役に處せられたり

◉愛國丸水夫長

陰性虎疫に罹る

…性なる事判明し解放されたり(門司特電)

◉長良川鵜飼中止

◆櫟村展覽會を觀る

◇畫材は朝鮮のものが多い

‖一見思想の健質をうかゞはる‖

○七日から三日間三越の三階に開かれる鶴田櫟村氏の半折畫展覽會を觀る半折の外に油繪が適所に配置されて氣持よく見られる、畫材は朝鮮のものが半分を占めて居る内地の作品には東京近郊、或は日光の奧、木曾路、東海道等多方面に亙つて居る。○半折の方では『鵲に少女』『淺春』『島の路』『早春』『伊東富士』『濱邊』『路』『湖畔』『野趣』『沼』『海苔採り』『槐樹の下』『壁に倚りて』などが佳いと思つた、概して奇拔なものは無いけれどもそれだけ靜かに味ふ事が出來る氏の作品のすべてを通じて思想の健質さがうかゞはれる、その極て自由な線と淡い色彩とは見る者をして自から親しみを覺ゆるに充分である、殊に『沼』『歸り路』『島の路』『野趣』『淺春』『壁に倚りて』等は各々特長を持て生れて來たものゝ樣に思ふ。○油繪では『夏の雲』『風景』『南山の此の頃』等が佳い、夏の雲は色彩もかなり豐富である内に柔か味と强さとを持て人を引きつける力がある。○『風景』には光りと空氣とをよく現はされて居ると思ふ『南山の此頃』は靜かな内に或る强い何物かを藏して居る味の有る繪だ。○『驟雨』を題する素描が一枚ある、之は鮮人の生活の一端を現はしたものだと思ふ良く其の氣持が出て居る、然しそこには未だ研究の餘地があると思ふ。○會場が三階に在る丈けに割合に風通しもよく靜かに氣持ちよく見る事が出來る、觀覽者は大分場に滿て居た其れ等の人々の内には種々な批評が聞かれる『さうも遠景は皆よく出來て居るけれど前景の方が少し變だ』など言てる人が在つた。○それは會場があれ丈けの繪を列べるには少し狹い故もあるけれど概して大くの人々が繪にあまり接近しすぎる爲めなのであるどうしても相當の距離を置て見る必要があると思ふ。—(こみ)—

◉三十女の投身

慶南馬山壽町居住仲仕靑木悅藏妻すき(三十)は四日午前四時頃無斷家出したるより家人が搜索中程經て元町附近の沿岸に屍體となりて漂流中を漁夫が發見し馬山署より係官出張檢視し屍體は夫悅藏に引渡せり同夜も例の生活難より夫婦喧嘩をなしたる末すきは發心覺悟の投身自殺を遂げしものならんと

◉呆れた亂暴者

全南長城郡西三面莊山里朱東柱(二四)は頗る付の放蕩者にて母親も持て剩せるが數日前も母と口論して酷く叱責されたるを憤り母を殺さんとて自宅に放火せしも附近の者に發見され消し止められし事其筋にて探知し放火罪にて逮捕さる(光州)

◉妙心寺の提唱 八日午前九時より長沙洞妙心寺に於て大悲普覺禪師の提唱ある由

うわさ

▲同じ汽車賃を出して乘ればそこに内外人や日鮮人の區別のあらう筈はない▲此の誰れにも分る理屈を分らぬ振りして橫に車を押す輩がないでもないらしい▲何でも此の四五日前京元線の或る驛から三等車に内地人が二人乘つた其時一寸車内がコンで座席がなかつたので二人は暴力を以て鮮人を追ひのけそこに自分達が坐り込んだと云ふ事實がある▲かう云ふ事は車掌が十分取締るべきだが忙い車掌はツイ氣附ぬ事もあるから若しさうした亂暴漢が出たら遠慮なく車掌に申告して欲しい、と鐵道の某當局は語つてゐた▲補すり合ふも他生の緣と云ふ同じ車中に乘り込んだら、客は互ひに讓避して、車中の秩序を紊さぬやうはせねばならぬ▲序でに二等客にも乘客混雜し居るにも拘はらず、毛布を擴げて永い座席を獨りで占め知らぬ顏の半兵衞をきめ込んでゐる者あり矣こんなのも車内道德から云へば自省を求めたい

◉車夫の同盟罷業

大阪富島組の車夫は一割の勞銀値上げを要求して拒絕せられたる爲め同…


▲書籍案内▼

民友社發行 女義士傳 價五〇 郵八〇
村上浪六後編 稻田一作 價七〇 郵五八
桃川如燕 名婦傳 價六〇 郵八〇
早川貞水 赤穗義士傳 六冊 各價四〇 各郵六八
松林伯知 桃川如燕 御前講談 價七〇 郵一〇
國民新聞社編 理想の家庭 價五〇 郵八〇
京城日報代理部(振替京城三〇〇番)

繭絲委托問屋
豐橋市札木町
一〇豐橋繭絲合資會社
電略(一〇)

養蜂
養蜂は有利高尙の生產業目下着手の好時期也往復葉書にて申込次第詳細案内
無代進呈 岐阜八劍 渡邊養蜂場

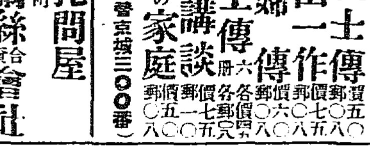
十馬力乃至十五馬力の 吸入瓦斯中古機
吸入瓦斯機關買入
一臺買入れ度し放賣希望の方は御通知を乞ふ
忠南大田 大田皮革株式會社内 本間巽

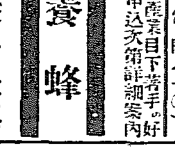
京日案内
普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一圓(一週間に拾錢增し)
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず ▲六箇以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず ▲御照合の節は必ず番號御記入を乞ふ

普通
◉外交員入用 本人來談あれ 希望者は履歷書携帶 京城黃金町二丁目 朝鮮研究會 258
◉貸家 黃金町五空氣流通よく空地畑有高尙なる庭園花木多く閑雅浴場倉庫付 蓬萊町三巴酒造場 電話三〇七
信用ある古本と古樂器買受 本町ウツボヤ 振三三 電三三七
◉店員入用 年齡廿歲前後身元保證人を要す 電話龍山の五〇二番 新龍山電車終點前 網尾雜貨店 253
◉派出看護婦募集 電話一四一〇 明治町二 惠愛看護婦會 246
◉婦人裁縫師入用 廿歲以上住込出來る者希望者は來談あれ 京城本町 電話四二二番 春 242
◉讓店 市内目拔の場所にて飲食店の老舖 歸國に就き至急讓り渡したし (姓名在社) 243

番外
有給外務員募集 履歷書携帶面談の事 日本生命保險會社開城代理店 188
礦物定量分析 太平町二丁目 電話長三四四 朝鮮公論社左橫小路 坂元分析所 254
勸業債券買入 京城太平通二丁目 電話二八三一番 勸業貯蓄會社朝鮮支部 252
支店長採用 收入確實 自費經營 滿洲朝鮮樞要地支店經營希望者履歷書携來談あれ資金八百圓以上要す 京城南大門外ドラッグ商會滿鮮本部 256
本町三ノ九 元中村齒科醫院の跡 產婆濱崎達子 業務擴張の爲め左記の所へ移轉仕候 電話三一六 257

移轉廣告
業務擴張の爲め本町一丁目
(元日下部漬物店跡)へ移轉仕候
京城本町一丁目四十七番地
(元店より西へ半町)
美術貴金屬品製作 高木金細工店
電話九九〇 振替九〇一番



陸軍御用酒

京城蓬萊町
發賣元 三巴酒造株式會社 電話長一〇六七番 振替口座六一八番
大田出張所 電話長一二五番
平壤出張所 電話長五一一番
特約販賣所は鮮滿樞要の地にあり

開業披露
東京手打 生そば 天ぷらちらし
開店披露として本月八九十日の三日間二割引
京城南大門外 翁庵 電話二六八八番

蠶生蠶出 殼
繭絲種繭
龍山停車場前
東 日東社
電話長四六五番

▲綿▼ 四千貫賣出し
昨年以來狂騰したる綿相場は米綿本年度作柄不良と歐洲行の買收の評に伴ひ茲に破天荒の高價を顯し最底の時に際し相場の常なる事を御認め下し候ひしと確實なる先約定品を以て市價の七八分に供し御需用に應じ來り弊店の安價に顯はし候確信を仕入茲に追々御手入御需用の商振に左の通り先約格安品入荷付き現在相場の爲め一割安を以て四千貫限り賣出し仕候現在品々相場に復し可申候也
(伊)印 三圓八十錢 (八)印 三圓三十錢
(保)印 二圓九十錢 (登)印 二圓五十錢
右各一ノ目正味地方御注文御見積願半額御前送願上候
綿蒲團蚊帳 メリヤス類 洋傘旅行具 毛布子供物類
中央製綿會社代理店
丸一綿蒲團部
京城本町二丁目 電話一〇九一番

## 花筐（四八）

松田竹の島人作

早見は、親友の大森から呼ばれたので、起つて窓の障子を開けて首を出し、

『家にゐるよ。』と應へた。

軈て大森が、梯子段を昇つて來るらしかつたが、荒物屋の主人の時より、激しくギシ／＼音がした。

大森は重々しい語調で、

『失敬』といつて入つて來たが、荒物屋の主人が、上野公園の西郷隆盛の銅像のやうだと評した通り、でつぷりと肥り、頭髮は五分刈りで、兩眼大きく、凛々しい顔であつた。けれども何處となく愛嬌があつて、嚴つい圓の中にも親み易く見江た。服裝は紺飛白の單衣の裾短いのを著て、白の天竺木綿の兵子帶を締めてゐた。

其挨拶は、唯失敬の一語で、頗る簡單であつた。

『やあ親父の禿が來てるな。』と頭から荒物屋の主人の惡口を言つて、控手と大胡坐をかき、

『又部屋代の催促か?』と言ひながら、其圓い眼で、睥睨と主人の顔を見た。

荒物屋の主人は、膽識振つて能く總て看る方であつたが、毎も豪傑肌の大森に出逢つては、猫の前の鼠のやうであつた。今でもてんつけ親父の禿と向き付けに言はれたので、厭やな顔付を爲て、

『ぢや早見さん、何分宜しく願ひます。』と言つて起ちかけた。

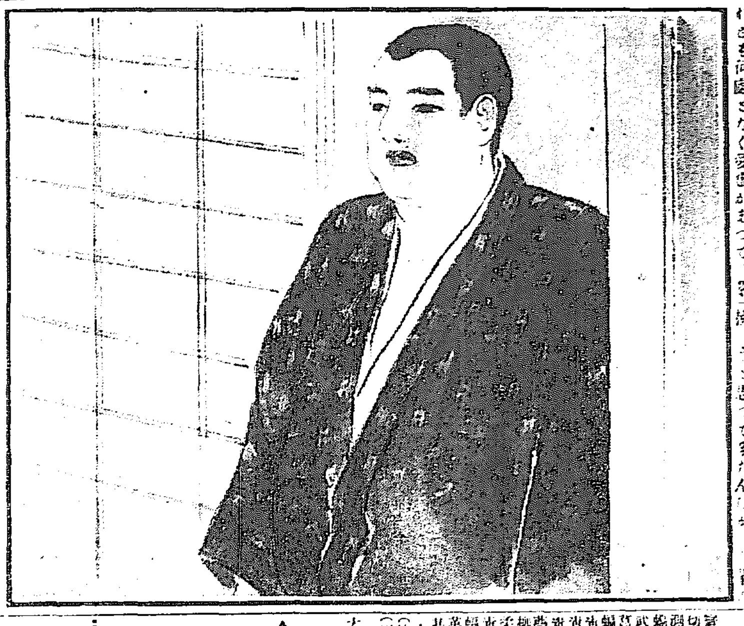
『オイ禿親父、まあ可いぢやないか吾輩の顔を見るなり直ぐ起ちかける顔を見るなり、直ぐ遁げるなんて、其麼失敬なことを爲るなら、拂はないで、何時までも引つ張つて遣るからな』

大森の此言葉には、慾張りの主人だけに、眼を圓くして驚いた。

早見は、主人から嚴談を受けて、困り抜いてゐたところへ、主人の嫌ひな大森が來たから、地獄で佛陀に逢つたやうな氣に爲つて、心の中で喜んでゐた。主人から嚴談を受けたことを大森へ噺し、其口から遊説を爲て貰ふか、それとも頼んである金作が出來てゐるならば、部屋代をそれで拂つて貰ひ、そして毆業な主人の油を取らせやうと思つたから、

『御主人、大森があゝいふから、まあ可いぢやありませんか。』と止めた。

荒物屋の主人は、此上部屋代を延ばされて堪るものか、遠慮のない大森の傍にゐて、惡口を言はれるのは



奴があるか失敬な……何んだな、吾輩が惡口を言ふもんだから、禿親父遁帰して逃げ出すのだな。』

『然ういふ理由ぢやありませんが……』

『ぢや最少し喋して往けよ。今日は惡口は言はんからた』

『少し要があるもんですから』

『何んだ要がある、嘘を吐け、要のありさうな顔付ぢやないぢやないか』

『全く要がありましてね』

『それぢや往き給へ。併し親父、愈の爲め言つとくが、早見の部屋代を拂はうと思つて來たんだが、……』

厭やだけれど、部屋代を拂うといふことだから、暫く我慢してゐて、受取つた上で、階下へ遁げやうと思つた。

大森は、荒物屋の主人が、腰を落ち着けたらしい擧動を見て、

『親父は實に現金だ、部屋代のことをいつたもんだから、直ぐ腰を落着けた。』

『だつて貴方、困つてるから、金を欲しがるのは當然ぢやありませんか。』

『大慾は無慾に似たりと言つて、貴様が餘り慾張るから困るのだ……然う／＼、今日は惡口は言はんことにするんだツけな。』

### 一日一句

我を壓す滴水に影の若樹哉　浩一郎
あさかほの珍種二鉢高買ひぬ　白紅
寄宿舍の窓に額ある新樹かな　素山子

### 京城蕉風會（七月の巻）

賦俳居一樂宗匠選

切株にある斗笠の馳走かな
溜池の杭にかくれたり茂る草
蝸蝸や鈴の香高き尻り馬
武の國の古風殘るや菖蒲の湯
菖蒲湯や太郎が先きの初端午
蝸蝸や日暮れて戻る寺宿坊
青簾下を流るゝ水さよし
青簾將軍の情濃に
青簾須磨に一入風情あり
青簾富士の繪人高風落し
熱玉た揃けて新る君が海
柳から風を遮るや青すだれ
來勢の心洗ふや菖蒲風呂
革命や名家の庭に草茂る
其色の風にもあるや青すだれ
人や築せや様々の心も五色
蝸蝸や取残されし草茂る
（地）花の夢さめぬ朝田や草茂る
（天）蝸蝸や陽明門の杉黒し
追加
太刀に負け歸る汽車みて明日勝たん　一雅

### 新刊紹介

▲新公論（七月號）社説「外交調査會の政治上の意義如何」を始め深井小憲氏の「外交調査會の國法上の疑義」横原仮次郎氏の「調査會と國民黨」箕浦勝人氏の「調査會は逆轉なり」鐵拳師の「人物批上の調査會と老政務の三黨三様の態度」白柳秀湖の「十八十色」等問題の外交調査會を批し來りて或は政治上より國法上より或は表面より裏面より縦横に批判し論評して餘す所なし。田中穂積教授の「英國選擧法改正案」小島博士の「歐洲戰爭の提起する經濟上の諸問題」及「南滿洲工業發展」

第「稻毛詛風の『戰後教育の方針』本間久雄の『支那趣味に就て』等何れも刻下必讀の文字。安岡秀夫氏の『支那人の金錢慾と虚僞』「伴房寛話イル」よつて興趣滿々、紫葉遠人の『浮房寛話』は例に依つて…者の同情に訴へ、…『歴史的鹿子』…『忍術の奥義』及び『成林一覽』等興味津々たり

▲通俗雜誌（七月號）今回紙面擴張の第一著手として懸賞金二百圓を提供し和歌、俳句、川柳其他廣く一般より募集せり同會宛往復ハガキにて申込めば規定詳細を無代にて送る由（五錢東京麹町飯田町五の二六通俗教育普及會）

▲朝鮮彙報（七月號）典獄に對する訓示及道慈惠醫院長に對する訓示、面制に就て（宇佐美長官）諸地稀の產額發逢に就て（中村技師）發電水力調査（遞信局）天佑の有志（村上博士）其他各欄如例（二十五錢朝鮮總督府）

▲警務彙報（七月號）刑事訴訟法改正案の要旨、平沼博士、警察振粛に関する件、面制施行規則、警官練習所規定、水害豫防の件其他（十五錢朝鮮總督府警務總監部）

▲ニコ／＼（七月號）近藏文字（佐々博士）社會百態觀（加藤咄堂）屋獣物語（餞谷小波）江戸時代ニコ／＼物語（金井浩本堂）特集の讀物（二十錢東京々橋南金六町一五ニコ／＼俱樂部）

▲英語精習（七月號）時文精習、英詩…

▲新しい英字、英文書信百題、實地會話交際語等の…

▲東京府立第二高等女學校同窓會々報（六月號）（非賣品其校）

▲フースヒー（四〇）（五錢東京府外下澁谷…）

▲新紅（七月號）（二十四錢東京下谷上根岸八二其社）

▲ザ、ジャパン、タイムス、スチューデント、エヂション（七月一日號）（十二錢東京麹町内幸町其社）

▲ツーリスト（二六）（非賣品東京停車場内ジャパン、ツーリスト、ビューロー）

▲日の丸（八月號）（十二錢東京市外高谷東エ…）

▲極楽時報（三〇）（十八錢東京々橋…町三二其社）

▲常磐木（七月號）（十五錢東京小石川…町二九其社）

▲英語の日本（七月一日號）（十二錢東京神田表神保町三進文館）

▲ザ、ユース（七月一日號）（十二錢東京麹町内幸町ジャパン、タイムス社）

▲習字と作文（七月號）（五錢東京…町一八六三其社）

▲ローマ字（七月號）（十二錢東京…町…）

### 讀者の領分

▲悪い習慣と知りつゝも夕食を濟ますと毎夜の様に本町邊へブラ／＼と遊びに出る私も小歇みなく降る雨の爲に今宵はトゥ／＼出ないで家に居ましたが誰と語るべき人もないたつた一人でポト／＼と落つる雨の滴を聞いてゐると何ともいへぬ孤獨の淋しさに泣かされるのでございます（芝代二）

▲公債生よ室内で靴を脱ぐは禮なりとの君の言は其れは東洋風の建築の場合なり見よ博物館は西洋建築なれば温突にあらず又疊敷にあらず勿論階上も床は靴の儘の歩行に耐ゆる筈なり若し此の床が靴の歩行に耐え得ずとせばそは建築上の一大失態にして國民は甚だ迷惑なり元來博物館とは讀んで字の如くならざれば其目的に反す日本座敷に於て骨董品を拜見するとは趣を異にす日進月歩の今日かゝる非文明なる博物館は他に類なし公債生に借問す君は總督府又は朝鮮銀行等の入口にて靴を脱せるや（新爾鬧者）

▲小學校長様へ御願申上ます學生の月謝は毎月十五日頃に御取になりますが僅か八十錢や一圓廿錢位の金に候得共私共の如き下給者には實に困り申候に付甚だ勝手の次第に候へ共毎月廿八九日頃御取被下度然らば私許りにては無之皆々様方も御喜びになりませう（日給五十錢生）

▲貴社朝刊身を沈めて病夫を助くの記事を拜見し小生は同情に堪へず餘裕ある身ならば身邊を剝いでも不幸な一家を救ひ度いが悲しい哉余も一寒の貧書生如何ともし難し、要は金錢問題なり良家の婦女をして此境に陷らしむ世の同情者諸士此悲慘なる一家の救濟は紅燈綠酒に醉ふ金を以て必ずや救ふに足らん同情の涙を以て猛省あらん事を（一貧書生）

▲咸南咸興に日本人の關係した常胎事件がありますが誰れも御存知ないと見江る（一官吏）

### 商況

下關期米特電

▲七日後場 大阪前場引二十三圓七十四錢と安移り後場…

川期米

### 休日越し如何

▲㊉同店の買手餘石…前場越の成行を示したる…

相場（商）安値 十九圓九十九錢 十九圓九十錢 出來高 一萬二千二百五十石



廣告
御特許防水衣
佛國發明協會名譽會員 醫學博士鈴木先生發明
特許防水衣は布帛の色澤美觀を損せず表裏布帛の中間にゴムを密着せしめタッカスコアパラズ體裁宜しく縫目にはゴム布を貼り防水力完全也
見本及定價表實費送料各種
京都府上賀茂 星川發明部 振替大阪七六

りん病
消渇で困る方 切手三錢送れ 良藥の自宅治療書を無代進呈す 多年の慢性も自宅で安全秘密に治す
名古屋市南新しや町 武藤角吉

わきが
全快 實驗 好評
新刊療法解説書全部實驗集無代呈す

夏の胃
夏は誰も胃が弱り、水アタリ、食アタリ、食傷等の、吐瀉、病に罹り、其他の無病者も常に胃腸を害する恐あり胃弱者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて、日々の持藥とし玉ふ事肝要なり

胃病良藥 胃活
定價（胃活錠）…
本舗 東京・大阪 山田安民藥房

天幕 雨覆 製造販賣 貸テント仕候
大阪北區南安治川二 宮武テント商行 振大一七一五四番

質
京城黄金町二丁目入（永樂町停留所北）堀佐營業所 電話六三九番

東洋一の新形流行
内田式ストロング號は堅牢優美、價格一層低廉を保證す
御旅行用 靴と鞄
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角 内田靴鞄製造問屋 電話一五五一、振替一八七一七

男の生殖器病
東京帝國醫科大學。公私病院實驗。感謝狀無數。局部に自宅で外用せば偉大の効が目に見える來所者には醫院部にて懇切説明す
新案特許眞空療法器は生殖器發育不全、包莖、陰萎、遺精、夢精、交接不快、感覺減少、神經衰弱、手淫、房事過度の障害に卓効有 ハガキで申込めば醫學博士證明の圖入説明書無代郵送す
東京神田かぢ町五番 東京眞空療法研究所 電話神田七二二番

書畫用品
繪絹絖類各種
萬年筆販賣修繕
京城永樂町二丁目 堀崎商店 電話一七四〇番 振替京城一〇八番

八丈島特産 精撰椿香油

牛乳 二優 國華石鹸
みやこ紅 白粉 都ノ雪
関西特約店
京都 紅清號に注意有
紅清舗

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話二七二九

登録商標
安住かとり線香
天下一品 年々益々好評
内外各博覽會金牌受領
贈て安心、貰て重寶
中元暑中の御進物は季節柄本品に限ります
例年の通り景品券附 拾函買へば壹函無代進呈

到る處の藥店及び荒物屋にて販賣す
大阪北區宮田町 安住大藥房

各宗佛檀、各宗珠數、各種位牌
金襴打敷地、各種線香、沈香薰香
佛具一式、各種漆塗、金銀箔押
並に佛檀洗い修覆再建入念に可仕候
各宗寺院用達 佛具調進所
京城本町二丁目七七、花月前 小倉佛具店 電話一五七一。振替京城三九五二





汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 七月十二日後五時出帆
○立神丸 七月廿三日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 七月廿一日後四時出帆
○立神丸 七月廿二日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三翠平丸 月日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三翠平丸 月日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十六日廿三日午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸行
○君が代丸 七月七日後四時出帆
○大有丸 七月日後四時出帆
○秀吉丸 七月日後四時出帆
○神代丸 七月十一日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 第廿共同丸 七月八日午後入港 七月十日前十時出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）野口商會
仁川代理店 寿日町（電話二四〇七番）田口回漕部
元山代理店 南大門（電話二六八、二〇七）河村運送店
京城取次店

金泉織居自動車支部
龍泉金泉間自動車發着時間

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車所
大邱出張部 電話一一七番

大阪屋號書店
最新刊
ABC引 日本辭典 井上博士
改正手形法論 …
改訂增補外國爲替 水野…
農村社會學 …
國民物理學 …
新訂六法全書 …
信條各論分類 …
化學的食物研究 …
日本温泉案内 …
教育と圖書館 …
歐米新思潮 …
南洋西ボルネオ …
和歌講話 …
日蓮主義研究講話 …
現代日本文章軌範 …
カラーマゾフの兄弟 …
離合 …
人生の快樂 …
野球年鑑 …
十五代將軍 …
水泳名手となるまで …
支那の眞相 …
進むべき道 …
新譯韓非子 …

大口京城黄金町長橋町入 田村質店 電話一九一六番 商品擔保便利取扱

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸 七月廿六日正午出帆
高砂丸 七月五日正午出帆
三河丸 七月十五日正午出帆
仁川海岸町 電話 十一番 回漕店

大阪商船仁川出帆
○神戸、大阪行 臺東丸 七月十四日後二時出帆
○汕頭丸 七月十日
○南部丸 七月十七日
×安東丸 七月廿一日後二時出帆
○木浦、釜山、嚴原、對の浦、長崎行
×安東丸 七月五日
○鎮南浦、大連行
×安東丸 七月十日後二時出帆
○浦東丸 七月廿六日
○橫濱行
○温州丸 七月十五日後二時出帆
○福州丸
○南浦行 七月十一日後二時出帆
○臺東丸 七月十四日
○大連直航
○溫州丸 月日正午出帆
○宮島丸 七月十日後十二時出帆
○淸津行 七月廿七日後十二時出帆
○湖北丸 七月廿三日前五時出帆
○基隆丸 七月七日後四時出帆
御注意
大阪商船會社仁川支店
内國通運會社京城支店
切符發賣所

朝鮮郵船出帆
○關門より釜山各地經由雄基行
京發丸 七月廿四日
忠淸丸 七月十四日
咸鏡丸 七月十九日
柳川丸 七月九日
釜山發
○元山より各地經由雄基行
穩城丸 七月十一日
鏡城丸 七月十五日
三浦丸 七月九日
元山發
○浦瀬行（元山より城津淸津經由）
平壤丸 七月十四日
元山發
○元山長箭間
成鏡丸 七月九日
穩城丸 七月十九日
柳川丸 七月二十日
元山發
○釜山元山間
慶實丸 月日
釜山發
○釜山長承浦麗水巨文島經由
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸 毎日
慶尙丸
○濟州島行
昌平丸 七月十三日
釜山發
○麗水行（各地經由）
統營丸 巨濟丸 毎日
釜山發
○木浦麗水間
南陽丸 天丸 三日目毎に木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
公州丸 慶興丸 七月十七日
木浦發
○多島海各島行
金海丸 七月十二日
木浦發
○木浦行（群山其他各地經由）
晋州丸 麗水丸 七月九日 七月十三日
仁川發
○鎮南浦行（海州其他各地經由）
宗信丸 七月十三日
仁川發
○海州行（江華島喬桐島經由）
全州丸 錦江丸 毎日
仁川發
但し三十一日は休航



日夜任…沙市…の叔父…より口論の末格鬪をなし…

▲横腹を蹴る…らしめたるより遂安憲兵分隊に檢擧さる